

いとうたけひこ 業績一覧

A—論文・著書(分担執筆)・翻訳

*R+番号は、<https://www.itotakehiko.com/>における整理番号である。

(整理番号 R053、R055、R092、R147 は欠番となっている。)

1979年

R001 伊藤武彦 (1979). 乳児の指さし理解に関する一研究 名古屋大学教育心理学科卒業論文 (未公刊)

1980年

R002 伊藤武彦 (1980). 乳児の指さし理解の発達の研究 東北心理科学研究, 4, 1-6.

1981年

R003 伊藤武彦 (1981). 単文理解の方略: 第2言語としての日本語と英語における通言語的研究 東北大学大学院教育学研究科修士論文 (未公刊)

1983年

R004 伊藤武彦 (1983). 文理解の方略の発達の研究: 言語獲得における言語普遍性と言語相対性 東北心理科学研究, 6, 16-22.

1985年

R005 伊藤武彦 (1985). 初語の理論的規定の試み 心理科学, 8(2), 13-18.

R006 Ito, T., & Tahara, S. (1985). A psycholinguistic approach to the acquisition of multifunctionality in Japanese particles *wa* and *ga*. *Descriptive and applied Linguistics*, 18, 121-131.

R007 田原俊司・伊藤武彦 (1985). 日本語のハとガの獲得に対する機能的アプローチ 東京大学教育学部紀要, 25, 227-236.

R008 田原俊司・伊藤武彦 (1985). 助詞ハとガの談話機能の発達 心理学研究, 56, 208-214.

R009 伊藤武彦 (1985). 核兵器と心理学者 さいころじすと 日本心理学諸学会間連絡会, 14, 9-10.

R010 伊藤武彦・林部英雄・石黒広昭・町田重光 (1985). 言語発達研究への機能主義的アプローチ 心理学評論, 28, 280-305.

1986年

R011 伊藤武彦・田原俊司 (1986). ハとガの動作主性の発達 パン, F. C.・八代京子・秋山高二 (編) ことばの多様性 (pp. 87-106) 文化評論出版

R012 田原俊司・伊藤武彦 (1986). 日本語の助詞ハとガの獲得に対する機能的アプローチ 東京大学教育学部紀要, 25, 227-236.

R013 伊藤武彦 (1986). 日本語の助詞ハとガの多重機能性 和光大学人文学部紀要, 21, 95-105.

1987年

R014 伊藤武彦 (1987). ヨーロッパ平和のための心理学会議についての報告 心理科学, 10(2), 50-51.

R015 田原俊司・朴媛淑・伊藤武彦 (1987). 韓国語単文理解における主題助詞と主格助詞の動作主性とその発達: 日本語の助詞ハとガとの比較 教育心理科学研究, 35, 213-222.

R016 伊藤武彦 (1987). 日本語の特徴: 文理解の方略の言語間の比較から 和光大学人文学部紀要別冊「エスキス'87」, 76-88.

1988年

R017 伊藤武彦 (1988). 歴史・平和分科会 (平和と心理学) 心理科学, 12(1), 50-52.

- R018 杉田明宏・荒尾貞一・伊藤武彦 (1988). 平和を創る 心理科学研究会 (編) かたりあう青年心理学 (pp. 193-221) 青木書店
- R019 堀孝彦・伊藤武彦 (1988). 「大学における平和教育」第2次調査中間報告: とくに平和教育の内容と方法について 日本の科学者, 23(8), 431-437.
- 1989年
- R020 伊藤武彦 (1989). 大学における平和教育 和光大学「大学における入門課程の実践研究」グループ 1988年度研究報告I: 大学入門期の教育と実践, 27-31.
- R021 Kilborn, K., & Ito, T. (1989). Sentence processing strategies in adult bilinguals. In B. MacWhinney & E. Bates (Eds.), *Cross-linguistic studies of language processing* (pp. 257-291). New York: Cambridge University Press.
- R022 伊藤武彦・田原俊司・朴媛淑 (1989). 格標識としての日本語助詞: 日韓両言語間の発達心理言語学的比較 パン, F. C.・パン, V. M. 三宅英文・佐々木真・渡辺鉄太 (編) 個人の言語と社会の言語 (pp. 93-111) 文化評論出版
- R023 伊藤武彦 (1989). 教師の問題 訥摩武俊 (編) 基礎教育心理学 (pp. 119-128) 八千代出版
- R024 伊藤武彦 (1989). 学習の意義と学習の理論 訥摩武俊 (編) 基礎教育心理学 (pp. 51-61) 八千代出版
- R027 伊藤武彦 (1989). 日本語における助詞の獲得: ハ・ガ・ヲの発達心理学的研究 東北大学大学院教育学研究科博士論文 (未公刊) (1989年1月24日提出)
- 1990年
- R025 伊藤武彦・田原俊司・朴媛淑 (1990). 韓国語の主題助詞-eun/neun・主格助詞-i/ga の談話機能の発達: 日本語の主題助詞ハ・主格助詞ガとの比較 神田外語大学紀要, 2, 81-97.
- R026 伊藤武彦 (1990). 日本語における助詞の獲得: ハ・ガ・ヲの発達心理学的研究 教育心理学年, 30, 157-158.
- R028 平和のための心理学者懇談会 (編) (1990). 平和心理学のいぶき 京都・法政出版 (編集および、「Resolutions, statements, and appeals for world peace」の章 (pp. 13-28)と「1970年代以降の平和心理学」の章 (pp. 33-49)を分担執筆)
- 1991年
- R029 日本科学者会議・平和・軍縮教育研究委員会 (編) (1991). 大学の平和学習: 大学教育の新しいうねり 平和文化
- R030 伊藤武彦・田原俊司・朴媛淑 (1991). 被動作主をあらわす助詞ヲの獲得: 助詞ガとの手がかりの強さの比較 教育心理学研究, 39(1), 75-84.
- 1992年
- R031 Fujita, H., & Ito, T. (1992). Peace education in Japanese universities. *Peace Education Miniprints*, 36, 1-18.
- R032 伊藤武彦 (1992). 第14回国際平和研究学会に参加して 平和教育, 43, 96-99.
- 1993年
- R033 Inoue, T., & Ito, T. (1993). Acculturation problems of foreigners in Japan. *Japanese Health Psychology*, 2, 64-74.
- R034 伊藤武彦・田原俊司・朴媛淑 (1993). 文の理解にはたす助詞の役割: 日本語と韓国語を中心に 風間書房
- R035 Inoue, T., & Ito, T. (1993). An intervention model for adjustment process of foreign residents in Japan: Cases of the Chinese. 東京外国語大学留学生日本語教育センター論集, 19, 207-217.
- 1994年
- R036 伊藤武彦 (1994). アメリカの諸大学訪問の旅と大学における平和教育 和光大学「大学における入門課程の実践研究」グループ 1993年度研究報告I: いま、大学は変わる, 103-104.
- R037 杉田明宏・伊藤武彦・中川作 (1994). 戦争と人間性に関する日本人大学生の意識調査: 社会ダーウィニズム的信念の実態と戦争防止への態度の関連 心理科学, 15(2), 28-37.
- R038 Brenes, A., & Ito, T. (1994). Peace Education: Perspectives from Costa Rica and Japan. *Peace Education Miniprints No. 62*.
- R039 伊藤武彦 (1994). 先住民・在日外国人の子どもと教育 日本子どもを守る会 (編) 子ども白書 '94 (pp. 164-165) 草土文化
- R040 Sugita, A., & Ito, T. (1994). The relationship between attitude and activity regarding nuclear disarmament in

Japanese adolescents. 和光大学人文学部紀要, 29, 1-14.

1995年

- R043 Fujita, H., & Ito, T. (1995). Peace education in Japanese universities. In J. Calleja (Ed.), *International education and the university* (pp. 128-142). Paris: UNESCO Publishing.
- R044 Fujita, H., & Ito, T. (1995). Peace education in Japanese universities. In A. Bjerstedt (Ed.), *Peace education: Global perspectives* (pp. 34-48). Stockholm: Almqvist & Wiksell International.
- R045 伊藤武彦 (1995). マイノリティ差別・偏見について: どう克服するか 第47回日米学生会議日本側報告書, 94-95.
- R046 伊藤武彦 (1995). 平和教育の国際的動向 人間と教育, 5, 70-78.
- R047 堀孝彦・伊藤武彦 (1995). 「大学における平和教育」第4次調査報告 日本の科学者, 30(3), 150-154.
- R048 日本科学者会議・平和・軍縮教育研究委員会 (編) (1995). 大学における平和教育'95: 90年代前半の教育内容・教育方法 日本科学者会議
- R049 伊藤武彦 (1995). プロゼミの教員、学生は考える: 伊藤プロゼミと韓国旅行 和光大学「大学における入門課程の実践研究」グループ 1994年度研究報告I: 韓国の大学はいま, 51-61.
- R050 井上孝代・伊藤武彦 (1995). 来日1年目の留学生の異文化適応と健康: 質問紙調査と異文化間カウンセリングの事例から 異文化間教育, 9, 128-142.

1996年

- R041 伊藤武彦 (1996). 政治心理学 伊藤隆二・松本恒之 (編著) 現代心理学 25章 (pp. 247-254) 八千代出版
- R042 和光大学授業研究会 (編) (1996). 語りあい 見せあい 大学授業 大月書店
- R051 デービッド・アダムズ (編集・解説) 中川作一 (訳) 杉田明宏・伊藤武彦 (編) (1996). 暴力についてのセビリア声明 平和文化
- R052 伊藤武彦 (1996). 人間発達学科初年度生の期待と満足: 新入生調査報告 和光大学人間関係学部紀要, 1, 89-98.
- R054 石原静子・伊藤武彦 (1996). 体験学習旅行が学生に持つ意味の実証的研究 和光大学人間関係学部紀要, 1, 145-156.
- R056 伊藤武彦 (1996). 発達を援助するカウンセリング活動 和光大学人間関係学部紀要, 1, 50-56.

1997年

- R057 Ito, T. (1997). Study tour of Japanese university students to Korea for mutual understanding and reconciliation (Unpublished manuscript)
- R058 伊藤武彦 (1997). 多変量のグラフ表現 和光大学人間関係学部紀要, 2, 55-65.
- R059 伊藤武彦 (1997). 計算統計学の最近の動向: 共分散構造分析の理論と応用 東西南北: 和光大学総合文化研究所年報, 1997, 128-137.
- R060 伊藤武彦・杉田明宏・中川作一 (1997). 大学生の平和意識: 『セビリア声明』との関連 日本の科学者, 32(8), 428-432.
- R061 井上孝代・伊藤武彦 (1997). 留学生の来日1年目の文化受容態度と精神的健康 心理学研究, 68, 298-304.
- R062 井上孝代・伊藤武彦 (1997). 異文化間カウンセリングにおけるPAC分析技法 井上孝代 (編) 異文化間臨床心理学序説 (pp. 103-137) 多賀出版
- R063 伊藤武彦 (1997). レポート: 日韓平和教育シンポジウム 平和教育, 53, 66-71.
- R064 伊藤武彦 (1997). 平和教育 日本子どもを守る会 (編) 子ども白書'97 (pp. 140-141) 草土文化
- R065 伊藤武彦 (1997). 体験学習の平和心理学: 「日韓平和と交流の旅」とその効果 古澤聡司・入谷敏男・伊藤武彦・杉田明宏 (著) 語りつぎ未来を拓く平和心理学 (pp. 149-178) 京都・法政出版
- R066 伊藤武彦 (1997). 偏見と差別の心理と留学生への対応 井上孝代 (編) 留学生の発達援助: 不適応の実態と対応 (pp. 95-107) 多賀出版

1998年

- R067 伊藤武彦・井上孝代 (1998). 全国高等教育機関の留学生の中退: 1996年度調査第1報 平成8・9年度科学研究費補助金研究成果報告書 (pp. 39-52) 東京外国語大学: 井上孝代
- R068 井上孝代・伊藤武彦 (1998). 留学生相談の実態と課題: 全国高等教育機関の調査から 学生相談研究, 19, 22-32.

- R069 伊藤武彦 (1998). 偏見とカウンセリング 井上孝代 (編) 現代のエスプリ 377 多文化時代のカウンセリング (pp. 59-67) 至文堂
- R070 伊藤武彦 (1998). カウンセリングと人間発達 和光大学人間関係学部紀要, 3, 158-163.
- R071 伊藤武彦 (1998). 実践的・探索的研究の効果測定における「効果偏差値」の提案 和光大学人間関係学部紀要, 3, 15-23.
- 1999年**
- R072 伊藤武彦 (1999). 平和の文化国際年について 日本の科学者, 34(11), 501-504.
- R073 伊藤武彦 (1999). 平和心理学の現状と課題 日本の科学者, 34(2), 85-89.
- R074 伊藤武彦・井上孝代 (1999). 留学生の中途退学者の全国調査 学生相談研究, 20, 38-48.
- 2000年**
- R075 平和の文化をきずく会 (編) (2000). 暴力の文化から平和の文化へ: 21世紀への国連・ユネスコ提言 平和文化
- R076 ヨハン・ガルトゥング 伊藤武彦 (編) 奥本京子 (訳) (2000). 平和的手段による紛争の転換: 超越法 平和文化
- R077 伊藤武彦 (2000). ハーグ平和アピール 1999年の背景と意義 民主教育研究所年報, 創刊号, 300-306.
- R078 伊藤武彦 (2000). 資料と解説 平和の文化に関する宣言 (特集1 自治体から平和を創る) 月刊社会教育, 44(8) (通号 538), 45-47.
- R079 伊藤武彦 (2000). 西暦 2000年は平和の文化国際年 月刊社会教育, 44(1) (通号 531), 24-31.
- R080 伊藤武彦 (2000). 暴力の文化から平和の文化への転換を 教育, 654, 72-78.
- R081 伊藤武彦 (2000). 平和の文化国際年に向けて 新英語教育, 365, 8-11.
- 2001年**
- R082 伊藤武彦 (2001). 平和の文化とアジアの教育: OECD 調査とベトナム旅行体験から 「アジアの教育—研究と交流」プロジェクトチーム (編) アジアの教育: その変貌と未来 (東西南北別冊 02) (pp. 64-77) 和光大学総合文化研究所
- R083 心理科学研究会 (編) (2001). 平和を創る心理学: 暴力の文化を克服する ナカニシヤ出版 (編集および、「攻撃と暴力と平和心理学」の章 (pp. 9-31) を分担執筆)
- 2003年**
- R084 伊藤武彦 (2003). 平和意識の発達と心理学の課題 人間発達研究, 創刊号, 和光大学人間関係学部紀要, 7, 95-106.
- R085 伊藤武彦 (2003). トランセンド法入門<理論>トランセンド法とは ヨハン・ガルトゥング & 藤田明史 (編) ガルトゥング平和学入門 (pp. 18-23) 法律文化社
- R086 D'Andrea, M. (2003). 伊藤武彦・石原静子・井上孝代 (訳) (2004). 学校・コミュニティにおける総合的な暴力予防プログラムの構築: 発達の・生態学的訓練モデル 明治学院大学 (東京・白金校舎) での講演から (特集 ハワイのコミュニティ心理学) マクロ・カウンセリング研究, 3, 1-17.
- 2004年**
- R087 伊藤武彦 (2004). 参加体験報告 ルーマニア平和研究所 (PATRIR) での非暴力ワークショップ参加報告 トランセンド研究, 2, 64-66.
- R088 伊藤武彦 (2004). 紛争とテロという現実のなかへ: 武装紛争解決のための心理学 山本登志哉・伊藤哲司 (編) 現代のエスプリ 449 現実に立ち向かう心理学 (pp. 149-157) 至文堂
- 2005年**
- R089 井上孝代 (編著) ガルトゥング, J.・テューディ, F.・伊藤武彦・吉田則子・西村眞智子・楠 凡之・熊倉朋子・海老原由紀・武藤清栄・松本 孚 (共著) (2005). コンフリクト転換のカウンセリング: 対人的問題解決の基礎 (マクロ・カウンセリング実践シリーズ 2) 川島書店
- R090 伊藤武彦 (2005). 第2次世界大戦後の日本とアジアの和解の課題 人間関係学部紀要, 10 (分冊 2), 43-53.
- 2006年**
- R091 Lewis, J. A., Lewis, M. D., Daniels, J. A., & D'Andrea, M. J. (2003). *Community counseling: Empowerment strategies for a diverse society* (3rd ed.). Pacific Grove, CA: Brooks/Cole. (ルイス, J. A.・ルイス, M. D.・ダニエルズ, J. A.・ダンドレア, M. J. 井上孝代 (監訳) 伊藤武彦・石原静子 (訳) (2006). コミュニテ

ィカウンセリング：福祉・教育・医療のための新しいパラダイム プレーン出版)

- R093 伊藤武彦 (2006). 解説：ポール・デュケット グローバル化された暴力とコミュニティ心理学：アフガニスタンとイラクの戦争をめぐって コミュニティ心理学研究, 9(2), 123-131.
- R094 伊藤武彦 (2006). 社会正義と人々のエンパワーメントのための RESPECTFUL カウンセリング：ダニエルズ & ダンドレア 「社会問題に立ち向かうカウンセリング」講演報告 東西南北：和光大学総合文化研究所年報, 2006, 187-193.
- R095 小平朋江・伊藤武彦 (2006). 精神障害者の偏見と差別とスティグマの克服 マクロ・カウンセリング研究, 5, 62-73.

2007年

- R096 ストーン, C. B. ダヒア, C. A. 井上孝代 (監訳) 伊藤武彦・石原静子 (訳) (2007). スクールカウンセリングの新しいパラダイム：MEASURE 法による全校参加型支援 風間書房
- R097 伊藤武彦 (2007). 緑を通じた平和構築：コミュニティ・ガーデンで民族融和に取り組むボスニア・ヘルツェゴビナの試み 東西南北：和光大学総合文化研究所年報, 2007, 124.
- R098 伊藤武彦 (2007). コンサルテーション 日本応用心理学会 (編) 応用心理学事典 (pp. 222-223) 丸善
- R099 伊藤武彦 (2007). エンパワーメント評価：コミュニティのための参加型評価 井上孝代 (編) エンパワーメントのカウンセリング (マクロ・カウンセリング実践シリーズ 5) (pp. 245-262) 川島書店
- R100 小平朋江・伊藤武彦・松上伸丈・佐々木彩 (2007). テキストマイニングによるビデオ教材の分析：精神障害者への偏見低減教育のアカウントビリティ向上をめざして マクロ・カウンセリング研, 6, 16-31.
- R101 城丸瑞恵・下田美保子・久保田まり・山口知子・宮坂真紗規・堤千鶴子・伊藤武彦 (2007). 腹部の手術を受ける患者の手術前後の不安と具体的な心配の構造 昭和医学会雑誌, 67(5), 435-443.

2008年

- R102 伊藤武彦 (2008). 社会正義につくした発達心理学者：田中昌人 関係性の教育学, 7(1), 154-161.
- R103 Ito, T. (2008). Masato Tanaka: A developmental psychologist for social justice. *The Journal of Engaged Pedagogy*, 7(1), 65-72.
- R104 伊藤武彦 (2008). コミュニティ支援のために：全校参加型学校支援の MEASURE 法と教育モジュールの効楽安近短モデルの検討を中心に 和光大学現代人間学部紀要, 1, 73-87.
- R105 杉田明宏・伊藤武彦 (2008). 日本における平和心理学の発展：心理科学研究会平和心理学部会 20 年の活動を焦点に 心理科学, 28(2), 42-55.
- R106 飯田敏晴・伊藤武彦・井上孝代 (2008). 日本の大学生における HIV 感染者・AIDS 患者に対する偏見と知識：中国との比較 応用心理学研究, 33(2), 142-143.
- R107 内藤哲雄・井上孝代・伊藤武彦・岸太一 (編) (2008). PAC 分析研究・実践集 1 ナカニシヤ出版
- R108 井上孝代・伊藤武彦 (2008). PAC 分析の活用と課題 心理学紀要 (明治学院大学), 18, 47-56.
- R109 小平朋江・伊藤武彦 (2008). 精神障害の闘病記：多様な物語りの意義 マクロ・カウンセリング研究, 7, 48-63.
- R110 松上伸丈・伊藤武彦 (2008). バイオ燃料をめぐる言説について：ネット上の記述を対象にしたテキストマイニング分析 マクロ・カウンセリング研究, 7, 22-29.
- R111 伊藤武彦・芳澤宏樹・井上孝代 (2008). PAC 分析を応用した HITY 法による個人別態度構造分析：父母間の子育て観を比較した HITY 法Ⅱ類を中心に マクロ・カウンセリング研究, 7, 8-11.
- R112 城丸瑞恵・伊藤武彦・下田美保子・仲松知子・宮坂真紗規・堤千鶴子・久保田まり (2008). 腹部の手術を受ける患者のコーピングに関する実態調査：手術前後のコーピング方略の構造的把握を目指して 昭和医学会雑誌, 68(6), 334-344.
- R113 伊藤武彦 (2001-2008). ガルトウング 日本大百科全書 小学館 (Japan Knowledge)

2009年

- R114 内藤哲雄・伊藤武彦・井上孝代・伊藤哲司・大淵憲一 (2009). シンポジウム 異文化対立から相互理解へ：理解と和解のためのフロンティア 応用心理学研究, 34, 60-72.
- R115 北風菜穂子・伊藤武彦・井上孝代 (2009). レイプ神話受容と被害者：加害者の関係によるレイプの責任判断に関する研究 応用心理学研究, 34, 56-57.

- R116 伊藤武彦 (2009). 紛争研究 君島東彦 (編) 平和学を学ぶ人のために (pp.173-188) 世界思想社
- R117 藤田明史・伊藤武彦・奥本京子・室井美稚子 (2009). 「トランセンド・グローバル・ミーティング：21世紀の平和構築」参加報告 トランセンド研究, 7(1), 1-9.
- R118 井上孝代・伊藤武彦 (2009). 高校ステークホルダーのコンフリクトについての個人別態度構造分析：レパトリートグリッド法を用いた対話法による「HITY法」の可能性 心理学紀要 (明治学院大学), 19, 21-33.
- R119 小平朋江・伊藤武彦 (2009). ナラティブ教材としての闘病記：多様なメディアにおける精神障害者の語りの教育的活用 マクロ・カウンセリング研究, 8, 50-67.

2010年

- R120 孫波・いとうたけひこ・城丸瑞恵・大高庸平 (2010). 日本におけるターミナルケアの看護学文献のテキストマイニング：医中誌データベースの1983年-2007年のタイトルの分析 昭和大学保健医療学雑誌, 7, 43-48.
- R121 鈴木ゆか・城丸瑞恵・いとうたけひこ・大高庸平 (2010). 自己抜管に関する研究動向：テキストマイニングツールによる分析 昭和大学保健医療学雑誌, 7, 17-25.
- R122 いとうたけひこ・小平朋江・穴澤海彦・井上孝代 (2010). タイダルモデルと浦河べてるの家：英国と北海道から生まれた精神障害者のためのコミュニティの人間関係援助 和光大学現代人間学部紀要, 3, 197-207.
- R123 飯田敏晴・いとうたけひこ・井上孝代 (2010). 日本の大学生における HIV 感染経路に関する知識と偏見の関連：性差に焦点を当てて 応用心理学研究, 35(2), 81-89.
- R124 いとうたけひこ・杉田明宏・井上孝代 (2010). コンフリクト転換を重視した平和教育とその評価：ガルトゥング平和理論を軸にした教員免許更新講習 トランセンド研究, 8(1), 10-29.
- R125 Galtung, J. いとうたけひこ (訳) (2010). 日本外交のもう一つの道：4つの具体的な提案 トランセンド研究, 8(1), 30-34.
- R126 Chinman, M., Imm, P., & Wandersman, A. (2004). *Getting To Outcomes 2004: Promoting accountability through methods and tools for planning, implementation, and evaluation*. Santa Monica, CA: RAND. (チンマン M・イム, P・ワンダーズマン, A. 井上孝代・伊藤武彦 (監訳), 池田満・池田琴恵 (訳) (2010). プログラムを成功に導く GTO の 10 のステップ：法とツール 風間書房)
- R127 大高庸平・城丸瑞恵・いとうたけひこ (2010). 手術とホルモン療法を受けた乳がん患者の心理：テキストマイニングによる語りの分析から 昭和医学会雑誌, 70(4), 302-314.
- R128 いとうたけひこ・水野修次郎・井上孝代 (2010). 紛争解決法としてのピア・メディエーション：関西 M 高校での取り組み トランセンド研究, 8(2), 70-75.
- R129 大高庸平・いとうたけひこ・小平朋江 (2010). 精神障害者の自助の心理教育プログラム「当事者研究」の構造と精神保健看護学への意義：「浦河べてるの家」のウェブサイト「当事者研究の部屋」の語りのテキストマイニングより 日本精神保健看護学会誌, 19(2), 43-54.
- R130 小平朋江・いとうたけひこ・大高庸平 (2010). 統合失調症の闘病記の分析：古川奈都子『心を病むってどういうこと？：精神病の体験者より』の構造のテキストマイニング 日本精神保健看護学会誌, 19(2), 10-21.
- R131 津田友理香・いとうたけひこ・井上孝代 (2010). 日本におけるフィリピン系移民二世の文化的アイデンティティと心理学的課題 マクロ・カウンセリング研究, 9, 60-67.
- R132 渡邊愛祈・いとうたけひこ・井上孝代 (2010). 楽観主義内容分析法の説明スタイルに関する測定法：CAVE法 (説明スタイルの逐語的内容分析) に着目して マクロ・カウンセリング研究, 9, 48-59.
- R133 鈴木ゆみ・いとうたけひこ・井上孝代 (2010). 日本におけるスクールカウンセラーのアドボカシーコンピテンスの応用可能性：日本語版アドボカシーコンピテンス自己評価検査 (Advocacy Competencies Self-Assessment Survey) の紹介 マクロ・カウンセリング研究, 9, 30-47.

2011年

- R134 井上孝代・いとうたけひこ (2011). ミックス法としての PAC 分析 内藤哲雄・井上孝代・いとうたけひこ・岸 太一 (編) PAC 分析研究・実践集 2 (pp. 139-156) ナカニシヤ出版
- R135 いとうたけひこ・井上孝代 (2011). 個人別態度構造分析の一つとしての HITY 法 内藤哲雄・井上孝代・いとうたけひこ・岸 太一 (編) PAC 分析研究・実践集 2 (pp. 157-176) ナカニシヤ出版
- R136 小平朋江・いとうたけひこ (2011). 「当事者が主人公」の実践のあり方を考える：統合失調症当事者

- によるナラティブを手がかりに 東西南北：和光大学総合文化研究所年報, 2011, 130-140.
- R137 いとうたけひこ (2011). 知識創造共同体としての浦河べてるの家の当事者研究：ナレッジ・マネジメント理論による分析 東西南北：和光大学総合文化研究所年報, 2011, 110-129.
- R138 いとうたけひこ・大高庸平 (2011). 『9/11 ボーイングを捜せ』と『9/11：真実への青写真』の視聴が大学生に米国政府公式見解への支持減少を引き起こす効果：テキストマイニングを活用したメディア・リテラシーの検討 心理科学, 31(2), 38-49.
- R139 加藤千佳・城丸瑞恵・いとうたけひこ (2011). テキストマイニングを用いた病棟看護師の実習指導に対する語りの分析 昭和大学保健医療学雑誌, 8, 23-33.
- R140 杉田明宏・いとうたけひこ (2011). 沖縄ピースツアーの効果と意義：テキストマイニングを用いてトランセンド研究, 9(1), 46-68.
- R141 井上孝代・いとうたけひこ・飯田敏晴 (2011). 高等学校のステークホルダーの葛藤対処方略スタイルと適応：教職員のバーンアウト傾向及び学校特性の認知との関連 心理学紀要 (明治学院大学), 21, 1-12.
- R142 いとうたけひこ (2011). コンフリクト・リゾリューション教育の企画報告 トランセンド研究, 9(2), 103-105.
- R143 いとうたけひこ (2011). 批判心理学の方法論の提案としてのテキストマイニング：変数心理学に対するオルタナティブ 心理科学, 32(2), 31-41.
- R144 小平朋江・いとうたけひこ (2011). 順序構造分析による精神障害に対する態度測定尺度 (AMD 尺度) の項目間構造の検討 応用心理学研究, 37(1), 42-43.
- R145 北風菜穂子・いとうたけひこ・井上孝代 (2011). 順序構造分析によるデートレイブ判断の性差の検討 応用心理学研究, 37(1), 40-41.
- R146 いとうたけひこ (2011). 心理学者からみた東日本大震災についての語り 竹内久顕 (編) 平和教育を問い直す：次世代への批判的継承 (p. 203) 法律文化社
- 2012年**
- R148 小平朋江・いとうたけひこ (2012). 統合失調症の闘病記のリスト：ナラティブ教材の可能性を展望する 心理科学, 33(2), 64-77.
- R149 いとうたけひこ (編著) (2012). コミュニティ援助への展望 角川学芸出版
- R150 いとうたけひこ (2012). 追悼：林真一郎先生 和光大学現代人間学部紀要, 5, 145-147.
- R151 いとうたけひこ (2012). トランセンドとは：アニメーション「Happy になる5つの方法」 平和教育アニメーションプロジェクト (編) みんなが Happy になる方法 (pp. 27-32) 平和文化
- R152 飯田敏晴・いとうたけひこ・井上孝代 (2012). HIV 自己イメージ尺度 (HIVSIS) の信頼性と妥当性の検討：予防的介入プログラムの開発に役立つ尺度の作成 コミュニティ心理学研究, 16(1), 39-54.
- R153 杉田明宏・いとうたけひこ・井上孝代 (2012). アニメ『みんなが Happy になる方法』を用いた紛争解決教育：大学新入生講座『アニメで学ぶ対立の解決』におけるコンフリクト対処スタイルの変化 トランセンド研究, 10(1), 24-33.
- R154 いとうたけひこ・宮崎郁江・杉田明宏 (2012). 沖縄の各都道府県別の慰霊塔・碑の特徴：テキストマイニングによる分析 トランセンド研究, 10(1), 10-23.
- R155 いとうたけひこ (2012). 東日本大震災についての語り 尾崎真奈美 (編) ポジティブ心理学再考 (pp. 1-9) ナカニシヤ出版
- R156 小平朋江・いとうたけひこ (2012). 「当事者が主人公」の実践のあり方を考える：統合失調症当事者によるナラティブを手がかりに いとうたけひこ (編著) コミュニティ援助への展望 (pp. 70-94) 角川学芸出版
- R157 いとうたけひこ (2012). 知識創造共同体としての浦河べてるの家の当事者研究：ナレッジ・マネジメント理論からの分析 いとうたけひこ (編) コミュニティ援助への展望 (pp. 95-131) 角川学芸出版
- R158 いとうたけひこ (2012). コミュニティ援助の意義とコミュニティ援助モデル いとうたけひこ (編著) コミュニティ援助への展望 (pp. 35-67) 角川学芸出版
- R159 杉田明宏・いとうたけひこ・井上孝代 (2012). コンフリクト転換を重視した平和教育とその評価：教員免許状更新講習におけるアニメ『みんなが Happy になる方法』活用の実践と効果 トランセンド研究, 10(2), 67-78.

R163 伊藤恵美・井上孝代・いとうたけひこ (2012). 社会福祉士実習教育における教育評価の検討：学生の実習報告書のテキストマイニング分析を通して 静岡県立大学短期大学部研究紀要, 26-W号 (2012年) -3, 1-12.

2013年

R160 Ito, T., & Iijima, Y. (2013). Posttraumatic growth in essays by children affected by the March 11 Earthquake Disaster in Japan: A text mining study. *Journal of International Society of Life Information Science*, 31(1), 67-72.

R161 水谷郷美・いとうたけひこ・城丸瑞恵・小平朋江・佐藤幹代・門林道子・本間真里 (2013). ウェブサイトを用いた乳がん体験者の転移進行度による語りの比較：テキストマイニング分析による話題の抽出 札幌保健科学雑誌, 2, 57-60.

R162 西野美佐子・いとうたけひこ (2013). 東日本震災を体験した大学生の文章のテキストマイニング：基本的自尊感情（共感的自己肯定感）と心的外傷後成長（PTG）に焦点を当てて 東北福祉大学大学院紀要, 10, 45-63.

R163-1 伊藤恵美・いとうたけひこ (2013). 保育者養成における読み聞かせ活動の位置づけ：研究論文タイトル・サブタイトルのテキストマイニング 静岡県立大学短期大学部研究紀要, 27-W号 (2013年) -3, 1-12.

R164 伊藤恵美・いとうたけひこ・井上孝代 (2013). 自死遺族の手記とその分析方法に関する考察：心的外傷後成長（PTG）に焦点を当てて 静岡県立大学短期大学部研究紀要, 27-W号 (2013年) -4, 1-9.

R165 いとうたけひこ (2013). 人間関係の中での自己成長：平和心理学への誘い 心理科学研究会（編）大学生生活をゆたかにする心理学：心の科学への招待（pp.97-119）福村出版

R166 迫田典子・いとうたけひこ・城丸瑞恵 (2013). クリティカルケア領域における家族看護の研究動向：質的研究と量的研究の傾向の比較 昭和大学保健医療学雑誌, 11, 1-10.

R167 いとうたけひこ (2013). テキストマイニングの看護研究における活用 看護研究, 46(5), 475-484.

R168 小平朋江・いとうたけひこ (2013). 統合失調症当事者の語りのテキストマイニング：闘病記のタイトル分析を中心に 看護研究, 46(5), 485-492.

R169 城丸瑞恵・水谷郷美・いとうたけひこ・門林道子・佐藤幹代・小平朋江・本間真理 (2013). 「乳がん研究の動向」と「患者の語り」のテキストマイニング活用例 看護研究, 46(5), 494-502.

R170 小平朋江・いとうたけひこ (2013). ナラティブ教材を用いた精神看護学授業での統合失調症のイメージの変化：テキストマイニングによる特徴語と評価語の分析 日本精神保健看護学会誌, 22(2), 68-74.

R171 杉田明宏・いとうたけひこ・井上孝代 (2013). アニメ『みんながHappyになる方法』による平和学習：平和博物館における活用を展望して トランセンド研究, 11(2), 97-110.

2014年

R172 飯田敏晴・いとうたけひこ・井上孝代 (2014). 大学生における HIV 感染想定時の自己イメージの意味構造：性別、HIV 感染経路に関する知識及び HIV/AIDS に関する偏見との関連 山梨英和大学紀要, 12, 18-31.

R173 Ito, T. (2014). Effects of tsunami and nuclear disaster on children's time perspective: A text mining study of essays after the Great East Japan Earthquake. *Journal of International Society of Life Information Science*, 32(1), 44-46.

R174 いとうたけひこ (2014). 津波と原発の子どもの時間的展望への影響：東日本大震災後の作文のテキストマイニング *Journal of International Society of Life Information Science*, 32(1), 47-48.

R175 Naka, R., Amano, H., & Ito, T. (2014). A case study of healing touch on Parkinson's disease in community nursing: Focusing on reducing pain, emotional distress, and insomnia. *Journal of International Society of Life Information Science*, 32(1), 34-37.

R176 中ルミ・天野博・いとうたけひこ (2014). 在宅看護におけるヒーリングタッチの効果に関する事例検討：パーキンソン病の女性の疼痛と心理的苦痛と不眠の軽減効果 *Journal of International Society of Life Information Science*, 32(1), 38-43.

R177 いとうたけひこ・大高庸平 (2014). 乳がんと前立腺がんの語りにおける性差：テキストマイニングによる DIPEX-Japan の分析 和光大学現代人間学部紀要, 7, 229-244.

R178 和久祥三・いとうたけひこ・井上孝代 (2014). コンフリクト転換を重視した地域医療再生の実践：

- 地域医療教育におけるトランセンド法の意義 トランセンド研究, 12(1), 42-54.
- R179 Ito, T. (2014). What kind of media contributes to human happiness?: From the news report on the 311 nuclear plant accidents. *Journal of International Society of Life Information Science*, 32(2), 237-240.
- R180 いとうたけひこ (2014). 人間の幸福に貢献するメディアとは? : 311の原発事故の報道を中心に *Journal of International Society of Life Information Science*, 32(2), 241-245.
- R181 Naka, R., Amano, H., & Ito, T. (2014). Caring to improve patients' energy field in community nursing: Effects of Healing Touch Intervention. *Journal of International Society of Life Information Science*, 32(2), 228-232.
- R182 中ルミ・天野博・いとうたけひこ (2014). 在宅看護にいかすエネルギーフィールドへのケア:ヒーリングタッチの効果 *Journal of International Society of Life Information Science*, 32(2), 233-236.
- R183 萩原綾香・渡辺雅幸・城丸瑞恵・いとうたけひこ (2014). 調査報告: 肺がん患者を有する家族の相談に関する研究: 積極的治療から症状緩和移行時の病状説明を受けた直後に焦点を当てて 死の臨床, 37(1), 131-135.
- R184 いとうたけひこ・杉田明宏 (2014). 平和心理学の理論 心理科学研究会 (編) 平和を創る心理学 [第2版] (pp.1-22) ナカニシヤ出版
- R185 いとうたけひこ・杉田明宏 (2014). 平和心理学の歴史 心理科学研究会 (編) 平和を創る心理学 [第2版] (pp. 23-44) ナカニシヤ出版
- R186 Okada, Y., Sawaumi, T., & Ito, T. (2014). Different effects of sample performance observation between high and low level English learners. In M.K. Aishah, S.K. Bhatt, W.M. Chan, S.W. Chi, K.W. Chin, S. Klayklung, M. Nagami, J.W. Sew, T. Suthiwan, I. Walker (Comps.), *Knowledge, Skills and Competencies in Foreign Language Education* (pp. 394-413). Singapore: NUS Centre for Language Studies.
- R187 堀恭子・いとうたけひこ (2014). 地域密着型サービス事業所における職員の心理援助に対するニーズの探索的研究: 臨床心理士が職員研修を行うための基礎資料として 聖学院大学論叢, 27(1), 197-212.
- R187-1 岡田靖子・いとうたけひこ (2014). 自己評価・ピア評価から見た学習者のビデオ映像活用の効果 日本大学経済学部研究紀要, 76, 47-55.
- 2015年**
- R188 いとうたけひこ・二川優太 (2015). プロ野球監督の楽観主義とチーム成績との関係: CAVE法による説明スタイルと勝率との比較 和光大学現代人間学部紀要, 8, 137-155.
- R189 Ito, T., & Goldstein, K. (2015). Tohoku stories: Identifying happy themes of disaster relief. *Journal of International Society of Life Information Science*, 33(1), 70-75.
- R190 いとうたけひこ (2015). テキストマイニングによる被災体験学 (Disaster Experience Research) への混合研究法アプローチ: 死に関する表現と心的外傷後成長 (PTG) 東西南北: 和光大学総合文化研究所年報, 2015, 104-116.
- R191 いとうたけひこ (2015). 報道のゆくえ 浮谷秀一・大坊郁夫 (編) 現代社会と応用心理学 5: クローズアップ「メディア」(pp. 225-233) 福村出版
- R192 安氏洋子・いとうたけひこ (2015). 保育者の死生観を育む表現教育の実践的研究 3: 鑑賞と作詞・作曲活動の学生アンケートのテキストマイニング 福岡女学院大学紀要, 16, 55-63.
- R193 石鎔美弥子・山下麻実・いとうたけひこ (2015). 小児医療場面において幼児に関わる看護師が用いるオノマトペの検討 小児保健研究, 74(6), 914-921.
- R194 小長谷百絵・林みつる・いとうたけひこ・小川鑠一 (2015). 高齢者にとっての点眼容器の使いやすさに関する研究 人間工学, 51(6), 441-448.
- R195 堀恭子・いとうたけひこ (2015). 地域密着型サービス事業所における職員の心理援助に対するニーズの探索的研究 II: 臨床心理士が職員研修を行うための基礎資料として 聖学院大学論叢, 28(1), 107-119.
- R196 八田直紀・石井哲次・いとうたけひこ・濱部浩一・清水安夫 (2015). 宿泊を伴うゴルフ実習の経験内容とそれを通じたライフスキルの経時的変化 体育研究, 48, 29-37.
- 2016年**
- R197 仲田みぎわ・城丸瑞恵・佐藤幹代・門林道子・水谷郷美・本間真理・いとうたけひこ (2016). 乳がん体験者の闘病記にみる病い体験による肯定的変化 死の臨床, 39(1), 185-191.
- R198 いとうたけひこ・三浦楓子 (2016). 日本人の臨死体験の特徴: 体験記録のテキストマイニング

- Journal of International Society of Life Information Science*, 34(2), 123-125.
- R199 大槻麻衣子・いとうたけひこ (2016). 自分の中に答えを見つけるイメージ療法: コヒーランス・プラクティスの大学授業への導入 *Journal of International Society of Life Information Science*, 34(2), 129-132.
- R200 Ito, T., & Miura, F. (2016). Characteristics of Japanese Near-death Experience: Text Mining Analysis of Narratives. *Journal of International Society of Life Information Science*, 34(2), 120-122.
- R201 Otsuki, M., & Ito, T. (2016). Therapy practice for finding the answers within: Introducing coherence practice to college education. *Journal of International Society of Life Information Science*, 34(2), 126-128.
- R202 井上孝代・いとうたけひこ・福本敬子・エイタン=オレン (編) (2016). トラウマケアと PTSD 予防のためのグループ表現セラピーと語りのちから: 国際連携専門家養成プログラム開発と苦勞体験学の構築 風間書房
- R203 岡田靖子・澤海崇文・いとうたけひこ・藤井勉 (2016). 達成目標理論研究の概観と英語オーラルプレゼンテーション指導への示唆 日本大学経済学部研究紀要, 82, 59-72.
- 2017 年
- R204 小平朋江・いとうたけひこ (2017). 研究発表『こころの元気+』からリカバリーを発掘する! こころの元気+, 2017 年 3 月号, 21-23.
- R205 井上孝代・いとうたけひこ・エイタン=オレン (2017). 東日本大震災における国際連携支援とコミュニティ再生: グループ表現セラピーと語りにおける心的外傷後成長 (PTG) こころと文化, 16(1), 51-61.
- R206 Okada, Y., Sawaumi, T., & Ito, T. (2017). Empowering Japanese EFL learners with video. *Proceedings of INTED2017 Conference*, 2621-2628. (11th International Technology, Education and Development Conference (Valencia, Spain). March 6-8, 2017.)
- R207 小平朋江・いとうたけひこ (2017). 浦河べてるの家の当事者研究の語りとりカバリー: テキストマイニング分析 心理学, 38(1), 55-62.
- R208 亀田芙蓉・いとうたけひこ・河津芳子 (2017). 実習指導場面における看護系大学の新人教員が抱える困難感と対応行動: テキストマイニング分析を中心に 日本ヒューマンヘルスケア学会誌, 2(1), 25-34.
- R209 杉田明宏・いとうたけひこ・井上孝代・高部優子 (2017). アクティブラーニングによる平和教育: 教員免許状更新講習における協同学習的グループワークの実践と効果 トランセンド研究, 15(1), 12-27.
- R210 杉田明宏・いとうたけひこ (2018). 平和心理学の歴史・理論と授業実践: 大学の軍事化への抵抗としての平和教育の提案 日本の科学者, 53(1), 21-27.
- R211 Okada, Y., Sawaumi, T., & Ito, T. (2017). Effects of observing model video presentations on Japanese EFL learners' Oral performance. *Electronic Journal of Foreign Language Teaching*, 14, 129-144.
- R212 北風菜穂子・いとうたけひこ (2017). 授業における「質問づくり」導入の試み: 幼児教育から高等教育までを貫くアクティブ・ラーニングによる教育を展望して 大東文化大学教職課程センター紀要, 2, 67-74.
- R213 杉田明宏・いとうたけひこ・高部優子・井上孝代 (2017). 平和学習におけるアニメーション教材と共同学習 (ジグソー法) の結合: 「インデ島へようこそ」を用いて マクロ・カウンセリング研究, 10, 31-45.
- R214 津田友理香・片岡真希・岡本 悠・小玉紗織・成田彩乃・いとうたけひこ・井上孝代 (2017). 中国蘇州における表現性心理療法国際学会での発表報告「臨床心理士養成大学院生を対象としたグループ表現アートセラピー研修プログラムの開発と評価」 マクロ・カウンセリング研究, 10, 61-72.
- R215 井上孝代・いとうたけひこ・エイタン=オレン (2017). 東日本大震災における国際連携支援とコミュニティ再生: グループ表現セラピーと語りにおける心的外傷後成長 (PTG) マクロ・カウンセリング研究, 10, 119-130.
- R216 岡田靖子・澤海崇文・いとうたけひこ (2017). 英語授業におけるビデオ映像を活用したアクティブラーニング: 展望論文 外国語教育メディア学会関東支部研究紀要, 2, 23-37.
- 2018 年
- R217 高部優子・いとうたけひこ・杉田明宏・井上孝代 (2018). テキストマイニングによる平和教育に関

- する文献研究：CiNiiにおける論文タイトルのテキストマイニング分析 トランセンド研究, 15(2), 78-86.
- R218 小平朋江・丹羽大輔・いとうたけひこ (2018). メンタルヘルスマガジンの表紙になる：精神障がい者の自己開示とリカバリー N:ナラティブとケア, 9, 67-73.
- R219 岡田靖子・澤海崇文・いとうたけひこ (2018). 日本人学習者のスピーチ不安軽減を目指すビデオ映像の活用 埼玉女子短期大学研究紀要, 37, 137-150.
- R220 石館美弥子・山下麻実・いとうたけひこ (2018). 医療処置を受ける幼児に使用するオノマトベのテキストマイニング分析：小児看護学実習前後における看護学生のことばの変化 日本健康医学会誌, 26(4), 204-211.
- R221 Okada, Y., Sawaumi, T., & Ito, T. (2018). How do speech model proficiency and viewing order affect Japanese EFL learners' speaking performances? *Computer-Assisted Language Learning-Electronic Journal*, 19, 61-81.
- R222 生田奈美可・いとうたけひこ (2018). 一般病棟に勤務する看護師のスピリチュアリティについての個人別態度構造分析 PAC 分析研究, 2, 42-45.
- R223 岡田靖子・澤海崇文・いとうたけひこ (2018). 大学生のスピーチ不安軽減を目指した英語授業に関する探索的研究 埼玉女子短期大学研究紀要, 38, 83-95.
- R224 加藤恵美・松平千佳・津田友理香・片岡真紀・いとうたけひこ・井上孝代 (2018). ホスピタル・ブレイの普及の意義：対人援助専門職を主な対象としたアクティブラーニング型研修会を通して 静岡県立大学短期大学部研究紀要, 32-W 号 (2018 年) -3, 1-20.
- R225 Okada, Y., Sawaumi, T., & Ito, T. (2018). A replication of Okada, Sawaumi, and Ito (2017): Effects of viewing speaker videos by proficiency order on Japanese EFL learners' speaking skills. *Electronic Journal of Foreign Language Teaching*, 15(2), 383-404.
- R226 田島明子・いとうたけひこ (2018). 介護予防においてソーシャルキャピタルを活用した研究に関連する文献レビュー 聖隷社会福祉研究, 11, 64-72.
- R227 佐口清美・いとうたけひこ・丹後キヌ子 (2018). 認知症当事者の語りにおける強みの分析：語りのデータベースの二次利用による混合研究法的アプローチ マクロ・カウンセリング研究, 11, 2-11.
- 2019 年
- R228 Ito, T., & Uda, H. (2019). The spirituality of family members of those deceased in the Great East Japan Earthquake: A text mining analysis of dream narratives in the book *She came to see me in my dream*. *Journal of International Society of Life Information Science*, 37(1), 77-79.
- R229 いとうたけひこ・宇多仁美 (2019). 東日本大震災の遺族のスピリチュアリティ：『私の夢まで、会いに来てくれた』における夢の語りのテキストマイニング分析 *Journal of International Society of Life Information Science*, 37(1), 80-82.
- R230 佐口清美・三澤久恵・畠山玲子・坂東美知代・いとうたけひこ (2019). 地域高齢者のスピリチュアリティに影響を与える要因：出来事、元気づけ、勇気づけからみたテキストマイニング分析 神奈川工科大学研究報告 A 人文社会科学編, 43, 55-62.
- R231 岡田靖子・澤海崇文・いとうたけひこ (2019). 高等教育における人間学的な韓国語教育の概念構築の試み 埼玉女子短期大学研究紀要, 39, 71-84.
- R232 Okada, Y., Sawaumi, T., & Ito, T. (2019). Setting Achievable Goals to Maintain Motivation in Japanese Learners of English as a Foreign Language. *CALL-EJ*, 20(2), 150-164.
- R232-1 加藤恵美・いとうたけひこ・井上孝代 (2018). 自死遺児の語りにおける自己開示・発見・リカバリーの過程：手記『自殺って言えなかった』のテキストマイニング分析 マクロ・カウンセリング研究, 11, 12-22.
- R233 岡田靖子・澤海崇文・いとうたけひこ (2019). 達成可能な目標提示がもたらす効果：英語学習に対する好感の視点から 埼玉女子短期大学研究紀要, 40, 95-113.
- R234 丹後キヌ子・いとうたけひこ・佐口清美 (2019). スピリチュアルペインに関する看護文献のテキストマイニング分析 マクロ・カウンセリング研究, 12, 16-27.
- R235 加藤恵美・岡本 悠・日高共子・井上孝代・いとうたけひこ (2019). 親を失った子どもの喪失体験に関する講義とワークショップ：社会福祉学科学生を対象とした授業実践の試み マクロ・カウンセリング研究, 12, 2-15.

2020年

- R236 いうたけひこ・小平朋江 (2020). 浦河べてるの家の「主旋律」からコミュニティ援助の在り方を考える: 『べてるの家』に学ぶ』の鼎談のテキストマイニング分析 和光大学現代人間学部紀要, 13, 63-70.
- R237 上野まどか・いうたけひこ (2020). 看護師を中心とした新規採用の医療従事者に行った短時間グループワークの内容と効果 応用心理学研究, 46(1), 53-62.
- R238 岡田靖子・澤海崇文・いうたけひこ (2020). 韓国語学習者の動機づけに関する予備的研究 清泉女子大学言語教育研究所 言語教育研究, 12, 1-18.
- R239 Gavron, T., Inoue, T., & Ito, T. (2020). Art-Based Psychosocial Intervention in Japan: Cross-Cultural Encounters. *International Journal of Art Therapy (IART)*, 26(4), 161-169.
<https://doi.org/10.1080/17454832.2020.1817959>
- R240 加藤恵美・いうたけひこ・井上孝代 (2020). 保育所保育士の「喪失体験児保育」に関する意識: ある保育研究会における事例検討を通して マクロ・カウンセリング研究, 13, 2-20.
- R241 井上孝代・いうたけひこ (2020). ある元国費留学生のライフストーリー研究: コンフリクト解決と生涯キャリア発達の視点から マクロ・カウンセリング研究, 13, 21-34.
- R242 小平朋江・いうたけひこ・向谷地生良 (2020). 浦河べてるの家の当事者研究とべてるまつりにおけるビジュアル・ナラティブ: 精神障害をもつ人のリカバリーと共同創造 (co-production) の可能性 マクロ・カウンセリング研究, 13, 35-58.

B—学会発表

*G+番号は、<https://www.itotakehiko.com/>における整理番号である。

(整理番号 G035、G050、G060、G101、G131、G143、G175 は、欠番となっている。)

1979年

- G001 伊藤武彦 (1979). 乳児の指さし理解の発達 (1): 人と指示対象との位置関係を手がかりに 日本教育心理学会第21回総会発表論文集, 162-163. (1979年10月4日(木)~6日(土) 金沢大学)

1982年

- G002 伊藤武彦 (1982). 日本語のハとガの動作主性: 日本人、二言語併用者、アメリカ人日本語教師/学習者の比較 日本教育心理学会第24回総会発表論文集, 24-25. (1982年11月26日(金)~28日(日) 筑波大学)
- G003 伊藤武彦 (1982). 英文理解の方略: アメリカ人、日本人留学生の比較 日本心理学会第46回大会発表論文集, 190. (1982年7月12日(月)~14日(水) 国立京都国際会館)

1983年

- G004 伊藤武彦 (1983). 日本語助詞なし文の理解の方略: 日本人、二言語併用者、アメリカ人日本語教師/学習者の比較 日本心理学会第47回大会発表論文集, 319. (1983年9月12日(月)~14日(水) 早稲田大学)

1984年

- G005 伊藤武彦・田原俊司 (1984). 日本語の助詞ハとガの獲得に対する心理言語学的アプローチ 第23回ICU夏期言語学研究会 (国際基督教大学)
- G006 田原俊司・伊藤武彦 (1984). 新—旧情報をあらかず助詞「は」「が」の獲得 日本教育心理学会第26回総会発表論文集, 650-651. (1984年9月28日(金)~30日(日) 京都大学)
- G007 Ito, T. (1984). Strategies of sentence comprehension in native speakers, bilinguals, and second language learners: A cross linguistic study of Japanese and English. *Paper presented at the XXIII International Congress of Psychology (Acapulco, Mexico). September 2-7, 1984.*

1985年

- G008 伊藤武彦・古屋喜美代・田中洋・松山由紀・野村勝彦・満田美穂子 (1985). N保健所一歳半健診の心理経過観察: ことばの発達の問題をめぐって 第32回日本小児保健学会, 200-201. (1985年10月11日(金)~12日(土) 秋田市)
- G009 伊藤武彦 (1985). 生活構造と集団の問題: プロンフェンブレンナー理論を中心に (全体シンポ「主体の変革と集団」) 心理科学, 8(2), 48-49. (心理科学研究会1984年春期研究集会 1984年11月2日(金)~4日(日) 文京区本郷・朝明館)

- G010 伊藤武彦・田原俊司 (1985). ハとガの動作主性の発達 第9回ICU幼児言語学研究会 (国際基督教大学)
- 1986年
- G011 伊藤武彦 (1986). 平和のための教育心理学 (自主シンポジウム) (企画者) 日本教育心理学会第28回総会発表論文集, s32-s33. (1986年10月3日(金)～5日(日) 九州大学 (文系キャンパス))
- 1987年
- G012 田原俊司・朴媛淑・伊藤武彦 (1987). 新旧情報をあらかず助詞の獲得:日韓両言語の比較 日本教育心理学会第29回総会発表論文集, 212-213. (1987年10月15日(木)～17日(土) 国立教育会館)
- G013 朴媛淑・田原俊司・伊藤武彦 (1987). 主題助詞と主格助詞の動作主性の発達:日・韓両言語の比較 日本教育心理学会第29回総会発表論文集, 210-211. (1987年10月15日(木)～17日(土) 国立教育会館)
- G014 伊藤武彦・田原俊司・朴媛淑 (1987). 被動作主をあらかず助詞ヲの獲得 日本教育心理学会第29回総会発表論文集, 208-209. (1987年10月15日(木)～17日(土) 国立教育会館)
- G015 伊藤武彦 (1987). 平和教育の心理学 (自主シンポジウム) (企画者・話題提供者) 日本教育心理学会第29回総会発表論文集, s32-s33. (1987年10月15日(木)～17日(土) 国立教育会館)
- G016 伊藤武彦 (1987). 若手研究者の立場から:日本の若手教育心理学研究者における4つのイドラ (研究委員会企画シンポジウム『教育心理学研究』の方向性とあり方を考える:最近の動向を通して) (『教育心理学年報』第27集, 1988)
- 1988年
- G017 伊藤武彦 (1988). 歴史・平和分科会 (平和と心理学) 心理科学, 12(1), 50-52. (心理科学研究会 1988年春期研究集会 1988年3月20日(日)～22日(火) 稲城市・読売ランド会館)
- G018 田原俊司・伊藤武彦・朴媛淑 (1988). 日・韓両言語において主題助詞と主格助詞は先行文脈に基づいて使い分けられているか 日本教育心理学会第30回総会発表論文集, 92-93. (1988年11月24日(木)～26日(土) 鳴門教育大学)
- G019 朴媛淑・田原俊司・伊藤武彦 (1988). 韓国語において被動作主を表す助詞-eul/reulの獲得 日本教育心理学会第30回総会発表論文集, 90-91. (1988年11月24日(木)～26日(土) 鳴門教育大学)
- G020 Sugita, A., & Ito, T. (1988). The relationship between the attitude and activity for nuclear disarmament in Japanese adolescents. *Paper presented at the 24th International Congress of Psychology* (Sydney, Australia). August 28-September 3, 1988.
- G021 伊藤武彦 (1988). 若手研究者の立場から:日本の若手教育心理学研究者における4つのイドラ (『教育心理学研究』の方向性とあり方を考える:最近の動向を通して) 教育心理学年報, 27, 28. (日本教育心理学会第29回総会 1987年10月15日(木)～17日(土) 国立教育会館)
- G022 伊藤武彦 (1988). 日本人学生の頭の中の世界地図 日本社会心理学会第29回大会発表論文集, 48-49. (1988年10月11日(火)～12日(水) 名古屋大学)
- G023 伊藤武彦・田原俊司・朴媛淑 (1988). 日・韓両言語において主題助詞と主格助詞は先行文脈に基づいて使い分けられているか 日本教育心理学会第30回総会発表論文集, 92-93. (1988年11月24日(木)～26日(土) 鳴門教育大学)
- 1989年
- G024 田原俊司・伊藤武彦・朴媛淑 (1989). 競合モデルは日本語の助詞研究において有効か 日本教育心理学会第31回総会発表論文集, 75. (1989年7月26日(水)～28日(金) 北海道大学)
- 1991年
- G025 伊藤武彦 (1991). 平和分科会 心理科学, 13(1), 46-47. (心理科学研究会 1989年春期研究集会 1989年3月31日(金)～4月2日(日) 八王子市・大学セミナーハウス)
- 1993年
- G026 伊藤武彦・伊藤良子 (1993). クラーク大学での在外研究をめぐって (イブニング・レクチャー) 心理科学, 15(1), 67. (心理科学研究会 1992年春期研究集会 1992年4月25日(土)～27日(月) 八王子市・大学セミナーハウス)
- G027 伊藤武彦 (1993). 平和心理学分科会 心理科学, 15(1), 60-61. (心理科学研究会 1992年春期研究集会 1992年4月25日(土)～27日(月) 八王子市・大学セミナーハウス)

G028 Ito, T., & Inoue, T. (1993). Prevention of violent ethnic conflicts in Japan. *Paper presented at the Third International Symposium on the Contributions of Psychology to Peace* (Randolph Macon College, USA). August 15-19, 1993.

1994年

G029 伊藤武彦 (1994). 平和心理学分科会 心理科学, 16(1), 71-72. (心理科学研究会 1993年秋期研究集会 1993年11月6日(土)~8日(月) 八王子市・大学セミナーハウス)

G030 伊藤武彦 (1994). 平和・歴史研究合同分科会 心理科学, 15(2), 64. (心理科学研究会 1992年秋期研究集会 1992年11月1日(日)~3日(火) 三重県・湯の山温泉)

G031 井上孝代・鈴木康明・伊藤武彦 (1994). 在日1年目の留学生の異文化適応と健康: 質問紙調査と異文化間カウンセリングの事例から 異文化間教育学会第15回大会発表抄録, 50-51. (目白学園女子短期大学)

G032 井上孝代・伊藤武彦 (1994). 在日一年目の留学生の異文化適応: 予備教育期間中の異文化適応態度と健康の質問紙調査 日本健康心理学会第7回大会発表論文集, 100-101. (1994年10月15日(土)~17日(月) 神戸女子大学)

1995年

G033 Inoue, T., & Ito, T. (1995). Acculturation process and mental health of international students in Japan. *International Conference on Conflict and Development in Adolescence* (Ghent, Belgium). November 21-24, 1995.

G034 井上孝代・伊藤武彦 (1995). 留学生のアカルチュレーション (異文化適応): 在日2年目以降の留学生に対する質問紙調査から 異文化間教育学会第16回大会発表抄録, 120-121. (九州大学)

G036 伊藤武彦 (1995). 被爆者のアイデンティティ (被爆50年国際シンポジウム (第1セッション「広島・長崎の原爆投下: その歴史的意味、被害の実相」) 1995年7月31日(月)~8月2日(水) 広島市)

1996年

G037 伊藤武彦 (1996). 体験学習旅行による相手国イメージの変容 日本教育心理学会第38回総会発表論文集, 306. (1996年11月2日(土)~4日(月) 筑波大学)

G038 伊藤武彦 (1996). 個人別態度構造分析による体験学習旅行の効果の測定 日本心理学会第60回大会発表論文集, 405. (1996年9月11日(水)~13日(金) 立教大学 (池袋キャンパス))

G039 井上孝代・伊藤武彦 (1996). 来日1年目の留学生の予備教育機関における学校不適応と授業イメージ 異文化間教育学会第17回大会発表抄録, 20-21. (上智大学)

G040 伊藤武彦 (1996). 被爆者のアイデンティティ 被爆50年国際シンポジウム報告集, 94-96.

1997年

G041 石原静子・伊藤武彦 (1997). 韓国体験学習旅行の効果測定 一般教育学会第19回大会発表要旨集録, 23-24. (1997年6月7日(土) 沖縄大学)

G042 Ito, T. (1997). Study tour of Japanese university students to Korea for mutual understanding and reconciliation. *Paper presented at the Fifth International Symposium on the Contributions of psychology to Peace* (University of Melbourne, Australia). July 7-11, 1997.

1998年

G043 伊藤武彦 (1998). 平和心理学分科会 心理科学, 20(1), 62. (心理科学研究会 1997年春期研究集会 1997年4月27日(日)~29日(火) 名古屋観光会館)

G044 井上孝代・伊藤武彦 (1998). 留学生相談の実態調査 日本学生相談学会第16回大会発表論文集, 50-51. (1998年5月17日(日)~19日(火) 国際基督教大学)

G045 伊藤武彦・井上孝代 (1998). 留学生の中退の全国調査 異文化間教育学会第19回大会 1998年5月30日(土)~31日(日) 神田外語大学

G046 伊藤武彦 (1998). 平和教育の心理学: 韓国体験学習旅行の参加型・実践的研究 日本応用心理学会第65回大会発表論文集, 36. (1998年9月5日(土)~6日(日) 龍谷大学)

G047 伊藤武彦 (1998). 平和問題への心理学的アプローチ: 90年代を中心に 日本心理学会第62回大会発表論文集, S92. (1998年10月7日(水)~9日(金) 東京学芸大学 (小金井キャンパス))

1999年

G048 Ito, T. (1999). College and universities for a Culture of Peace. *Paper presented at the Sixth International Symposium on the Contributions of psychology to Peace* (University of Peace, Costa Rica). July 25-28, 1999.

- G049 伊藤武彦 (1999). 偏見とその克服:日韓の相互イメージを中心に 日本教育学会大会研究発表要項, 58, 91-92. (1999年9月3日(金)~5日(日) 玉川大学)
- 2000年**
- G051 伊藤武彦 (2000). 偏見とその克服:日韓の相互イメージを中心に (平和教育・平和文化) 教育学研究, 67(1), 54-56.
- G052 伊藤武彦 (2000). 「効果量」と「効果偏差値」のススメ (自主シンポジウム「教育心理学における研究成果の一般化の問題:追試の重要性とその公開を巡って」) 日本教育心理学会第42回総会発表論文集, S88-S89. (2000年9月16日(土)~18日(月) 東京大学(駒場キャンパス))
- G053 伊藤武彦 (2000). 暴力のセビリア声明から「平和の文化」の21世紀へ (日本応用心理学会第67回大会 2000年11月11日(土)~12日(日) 愛知大学(豊橋キャンパス))
- G054 伊藤武彦 (2000). ユネスコと平和の文化 日本平和学会2000年秋季研究大会報告要旨, 24-25. (2000年11月11日(土)~12日(日) 愛知大学(豊橋キャンパス))
- 2001年**
- G055 Ito, T. (2001). Emotional climates and culture of peace in Japanese students. *International Council of Psychologists 59th Annual Conference* (King Alfred College, Winchester, England). July 8-12, 2001.
- G056 Ito, T. (2001). College and universities for a Culture of Peace. *Paper presented at the Seventh International Symposium on the Contributions of psychology to Peace* (Göteborg, Sweden), 2001.
- 2002年**
- G057 三井大相・荒尾貞一・伊藤武彦・高垣忠一郎・平沼博将 (2002). 「歴史教科書問題」への心理学的アプローチ:私たちが深めるべき課題は何か 心理科学, 23(2), 49-50. (心理科学研究会2001年秋期研究会集会 2001年10月27日(土)~29日(月) 岐阜市・十八楼)
- G058 月野木竜也・伊藤武彦・井上孝代 (2002). ある地方自治体職員の男女平等に対する意識 日本コミュニティ心理学会第4回大会発表論文集, 42-43. (2002年3月21日(木)~23日(土) 山形県・上山市)
- G059 伊藤武彦・月野木竜也 (2002). 女子学生の性役割のメタ認知 日本教育心理学会第44回総会発表論文集, 417. (2002年10月12日(土)~14日(月) 熊本大学(黒髪北地区キャンパス))
- 2005年**
- G061 Ito, T. (2005). The psychology of reconciliation. *Paper presented at the Ninth International Symposium on the Contributions of Psychology to Peace* (Portland State University, Portland, Oregon, USA). June 19-26, 2005.
- 2006年**
- G062 伊藤武彦 (2006). 田中昌人の発達理論:コミュニティ心理学の立場から (シンポジウム報告) (日本応用心理学会第73回大会 2006年9月9日(土)~10日(日) 文京学院大学)
- G063 伊藤武彦 (2006). 平和心理学部会特別企画上映会「ドキュメンタリー『テロリストは誰?』」(フリーテーマセッション テーマII) 心理科学, 26(2), 83. (心理科学研究会2004年秋期研究会集会 2004年11月6日(土)~8日(月) 鳥取市・レーク大樹)
- G064 伊藤武彦 (2006). 平和心理学分科会 心理科学, 26(1), 84-85. (心理科学研究会2004年春期研究会集会 2004年4月24日(土)~26日(月) 熱海市・いでゆ荘)
- G064-1 伊藤武彦 (2006). 記憶による紙幣の描画の個人差 日本教育心理学会第48回総会発表論文集, 706. (2006年9月16日(土)~18日(月) 岡山コンベンションセンター)
- 2007年**
- G065 小平朋江・伊藤武彦・松上伸丈 (2007). ビデオ視聴による統合失調症の人への偏見低減のための教育の効果:AMD尺度による患者談話条件と医師説明条件との効果の違い 日本教育心理学会第49回総会発表論文集, 353. (2007年9月15日(土)~17日(月) 文教大学(越谷キャンパス))
- G066 小平朋江・伊藤武彦・松上伸丈・井上孝代 (2007). 統合失調症の人についてのビデオ視聴による偏見低減の効果:AMD尺度とSDSJ社会的距離尺度による患者談話条件と医師説明条件との比較 日本応用心理学会第74回大会発表論文集, 59. (2007年9月8日(土)~9日(日) 帝塚山大学(奈良・学園前キャンパス))
- G067 長坂晟・北風菜穂子・飯田敏晴・伊藤武彦(指定討論者)(2007). マイノリティに対するスティグマ・偏見・差別の低減(ワークショップ) 日本応用心理学会第74回大会発表論文集, 7. (2007年9月8日(土)~9日(日) 帝塚山大学(奈良・学園前キャンパス))

- G068 伊藤武彦 (企画者)・内藤哲雄・井上孝代・岸 太一 (2007). PAC 分析の過去・現在・未来: 個を科学する方法のさらなる発展にむけて (ワークショップ) 日本応用心理学会第 74 回大会発表論文集, 6. (2007 年 9 月 8 日 (土) ~9 日 (日) 帝塚山大学 (奈良・学園前キャンパス))
- G069 Ito, T. (2007). Masato Tanaka: A developmental psychologist for social justice. *Paper presented at the Tenth International Symposium on the Contributions of Psychology to Peace* (Surakarta & Yogyakarta, Indonesia). June 18-23, 2007.
- G070 Kitakaze, N., Numa, N., Matsugami, N., Inoue, T., & Ito, T. (2007). Rape myth acceptance in Japanese university students. *Japanese Society of Transcultural Psychiatry (JSTP)*, *World Psychiatric Association, Transcultural Psychiatry Section (WPATPS)*, *World Association of cultural Psychiatry (WACP)*, *Joint Meeting* (Kamakura, Japan). April 27-29, 2007.
- G070-1 Nagasaka, N., & Ito, T. (2007). Sexual Orientation of People with Gender Identity Disorder. *Japanese Society of Transcultural Psychiatry (JSTP)*, *World Psychiatric Association, Transcultural Psychiatry Section (WPATPS)*, *World Association of cultural Psychiatry (WACP)*, *Joint Meeting* (Kamakura, Japan). April 27-29, 2007.
- G071 Kodaira, T., Ito, T., & Matsugami, N. (2007). Video learning for reduction of prejudice towards schizophrenia. *Japanese Society of Transcultural Psychiatry (JSTP)*, *World Psychiatric Association, Transcultural Psychiatry Section (WPATPS)*, *World Association of cultural Psychiatry (WACP)*, *Joint Meeting* (Kamakura, Japan). April 27-29, 2007.
- G072 Ito, T. (2007). Reconciliation between Japan and other Asian countries. *Japanese Society of Transcultural Psychiatry (JSTP)*, *World Psychiatric Association, Transcultural Psychiatry Section (WPATPS)*, *World Association of cultural Psychiatry (WACP)*, *Joint Meeting* (Kamakura, Japan). April 27-29, 2007.
- G073 伊藤武彦 (2007). 平和心理学分科会報告 統合失調症に対する偏見・差別・スティグマを転換し、QOL を高めるためのエンパワーメント教育 心理科学, 28(2), 94-95. (心理科学研究会 2007 年秋期研究集会 2007 年 12 月 1 日 (土) 広島県国民宿舎みやま杜の宿)
- G107-1 伊藤武彦 (企画者)・内藤哲雄・井上孝代・岸 太一 (2007). PAC 分析の過去・現在・未来: 個を科学する方法のさらなる発展にむけて (ワークショップ) 日本応用心理学会第 74 回大会発表論文集, 6. (2007 年 9 月 8 日 (土) ~9 日 (日) 帝塚山大学 (奈良・学園前キャンパス))
- G107-2 長坂 晟・北風菜穂子・飯田敏晴・伊藤武彦 (指定討論者) (2007). マイノリティに対するスティグマ・偏見・差別の低減 (ワークショップ) 日本応用心理学会第 74 回大会発表論文集, 7. (2007 年 9 月 8 日 (土) ~9 日 (日) 帝塚山大学 (奈良・学園前キャンパス))
- 2008 年
- G074 Ito, T., & Kodaira, T. (2008). Prevention education by video watching for reduction of prejudice towards schizophrenia. *Paper to be read at 12th International and 43rd National Conference of Indian Academy of Applied Psychology (IAAP)* (Kolkata, India). February 7-9, 2008.
- G075 Ito, T., & Kodaira, T. (2008). Video education for reduction of prejudice towards schizophrenia. *Paper to be read at the 2008 International Counseling Psychology Conference* (Chicago, Illinois). March 6-9, 2008.
- G076 八城真里・井上孝代・伊藤武彦 (2008). 児童養護施設職員の職務継続意思に及ぼす影響要因に関する研究: 物理的・環境的要因及び心理的要因 (バーンアウト・二次的外傷性ストレス・共感満足に注目して) 日本コミュニティ心理学会第 11 回大会発表論文集, 138-139. (2008 年 6 月 14 日 (土) ~15 日 (日) 愛知学院大学 (日進キャンパス))
- G077 北風菜穂子・伊藤武彦・井上孝代 (2008). 予防教育的アプローチによる大学生のレイブ神話受容態度の変容 日本コミュニティ心理学会第 11 回大会発表論文集, 130-131. (2008 年 6 月 14 日 (土) ~15 日 (日) 愛知学院大学 (日進キャンパス))
- G078 飯田敏晴・山本茉樹・伊藤武彦・井上孝代 (2008). 女子大生における HIV 感染症に対するイメージと偏見の構造 日本コミュニティ心理学会第 11 回大会発表論文集, 102-103. (2008 年 6 月 14 日 (土) ~15 日 (日) 愛知学院大学 (日進キャンパス))
- G079 伊藤武彦 (2008). スクールカウンセリングにおける MEASURE はエンパワーメント評価か? 日本コミュニティ心理学会第 11 回大会発表論文集, 36-37. (2008 年 6 月 14 日 (土) ~15 日 (日) 愛知学院大学 (日進キャンパス))
- G080 伊藤武彦 (2008). エンパワーメント評価の今日的課題 (自主シンポジウム趣旨説明) 日本コミ

- ユニティ心理学会第11回大会発表論文集, 30-31. (2008年6月14日(土)～15日(日) 愛知学院大学(日進キャンパス))
- G081 Nagasaka, N., Ito, T., & Sakazume, H. (2008). How do people with gender identity disorder cope with difficulty in their life stages? *2nd International Conference on Community Psychology (ICCP)* (Lisboa, Portugal). June 4-6, 2008.
- G082 Ito, T., Kodaira, T., Matsugami, N., & Inoue, T. (2008). Schizophrenia prejudice prevention education by video watching. *2nd International Conference on Community Psychology (ICCP)* (Lisboa, Portugal). June 4-6, 2008.
- G083 芳澤宏樹・伊藤武彦・井上孝代 (2008). 共働きの父親の育児参加と育児ストレス: 就学前の子どもを持つ父親を対象とした質的研究 日本応用心理学会第75回大会発表論文集, 118. (2008年9月14日(日)～15日(月) 横浜国立大学)
- G084 八城真里・伊藤武彦・井上孝代 (2008). 児童養護施設職員のニーズと職務継続意思に関する研究: Text Mining Studio 2.2.1によるテキストマイニング 日本応用心理学会第75回大会発表論文集, 95. (2008年9月14日(日)～15日(月) 横浜国立大学)
- G085 城丸瑞恵・伊藤武彦・下田美保子・仲松知子・宮坂真紗規・堤千鶴子・久保田まり (2007). 腹部の手術を受ける患者の手術前における不安と具体的な心配の構造 日本応用心理学会第75回大会発表論文集, 55. (2008年9月14日(日)～15日(月) 横浜国立大学)
- G086 小平朋江・伊藤武彦・松上伸丈・久木田隼 (2008). 「浦河べてるの家」についてのビデオ視聴による統合失調症を持つ人への偏見低減のための教育の効果 日本教育心理学会第50回総会発表論文集, 141. (2008年10月11日(土)～13日(月) 東京学芸大学小金井キャンパス)
- G087 伊藤武彦 (2008). PAC分析を語る(1): 質的分析と量的分析の結合について 日本教育心理学会第50回総会発表論文集, S132-S133. (2008年10月11日(土)～13日(月) 東京学芸大学)
- G088 Nagasaka, N., Ito, T., & Sakazume, H. (2008). What are the difficulties that people with gender identity disorder cope with in their life stages?: FTM's narratives and their time perspective. *13th Pacific Rim College of Psychiatrists Scientific Meeting Program & Abstracts* (Tokyo, Japan), 311. October 30-November 2, 2008.
- G089 Yoshizawa, H., Ito, T., & Inoue, T. (2008). Roles and meanings of childrearing for a couple: A basis for family psychotherapy. *13th Pacific Rim College of Psychiatrists Scientific Meeting* (Tokyo, Japan), 330. October 30-November 2, 2008.
- G090 Yashiro, M., Ito, T., & Inoue, T. (2008). A national survey of mental health of children's home workers in Japan: Focusing on burnout, secondary traumatic stress, and compassion satisfaction as factors affecting intention to continue to work. *13th Pacific Rim College of Psychiatrists Scientific Meeting Program & Abstracts* (Tokyo, Japan), 327. October 30-November 2, 2008.
- G091 Kitakaze, N., Ito, T., & Inoue, T. (2008). Social perception of rape in Japan: Comparing Spanish and Japanese university students. *13th Pacific Rim College of Psychiatrists Scientific Meeting Program & Abstracts* (Tokyo, Japan), 320. October 30-November 2, 2008.
- G092 Iida, T., Ito, T., & Inoue, T. (2008). HIV-related knowledge and attitude toward people living with HIV/AIDS among university students in Japan. *13th Pacific Rim College of Psychiatrists Scientific Meeting Program & Abstracts* (Tokyo, Japan), 327. October 30-November 2, 2008.
- G093 Kodaira, T., Ito, T., Matsugami, N., & Inoue, T. (2008). Can we reduce the prejudice among the people towards schizophrenia by a short-time video education? *13th Pacific Rim College of Psychiatrists Scientific Meeting Program & Abstracts* (Tokyo, Japan), 296. October 30-November 2, 2008.
- G094 伊藤武彦・芳澤宏樹・井上孝代 (2008). PAC分析の拡張としてのHITY法による個人別態度構造分析: 父母間の子育て観を比較したHITY法Ⅱ類を中心に (PAC分析学会第2回大会 2008年12月6日(土) 東邦大学)
- 2009年**
- G095 城丸瑞恵・伊藤武彦・堤千鶴子・和田森憲二・比嘉国基・坂本尚美・角田ゆう子・横山純子・野村千鶴・平野久美子・副島和彦・福間英祐 (2009). ホルモン療法を受けている乳癌患者のQOLに関連する諸要因 第17回日本乳癌学会学術総会プログラム抄録集, 396. (2009年7月3日(金)～4日(土) ホテル日航東京・ホテルグランパシフィック LE DAIBA)
- G096 伊藤武彦・城丸瑞恵・堤千鶴子・和田森憲二・比嘉国基・坂本尚美・角田ゆう子・横山純子・野村千

- 鶴・平野久美子・副島和彦・福岡英祐 (2009). ホルモン療法を受けている乳癌患者の更年期障害とQOL 第17回日本乳癌学会学術総会プログラム抄録集, 396. (2009年7月3日(金)~4日(土) ホテル日航東京・ホテルグランパシフィック LE DAIBA)
- G097 Sun, B., Ito, T., & Shiromaru, M. (2009). How has terminal care been studied in Japanese nursing science?: A text mining analysis of research paper titles and keywords from 1993 to 2007 in the ICHUSHI database. *Centennial Celebration of Chinese Nursing Association: Thesis Compilation*, 174-175. August 19, 2009.
- G098 Kodaira, T., & Ito, T. (2009). Autobiographical illness narrative documents of people with mental disorders in Japan: Their clinical significance from the viewpoint of nursing. *Centennial Celebration of Chinese Nursing Association: Thesis Compilation*, 265-266. August 19, 2009.
- G099 Kodaira, T., & Ito, T. (2009). Effects of preventive education for reduction of prejudice towards schizophrenia on nursing students. *Centennial Celebration of Chinese Nursing Association: Thesis Compilation*, 192-193. August 19, 2009.
- G100 Shiromaru, M., Ito, T., Sun, B., & Mizutani, S. (2009). Patients' coping strategies before and after the abdominal surgery. *Centennial Celebration of Chinese Nursing Association: Thesis Compilation*, 189-190. August 19, 2009.
- G102 中野真希・伊藤武彦・井上孝代 (2009). 「慰安婦」問題とレイプ神話との関連: 男女の比較に焦点を当てて 日本応用心理学会第76回大会発表論文集, 102. (2009年9月12日(土)~13日(日) 九州大学 (病院キャンパス))
- G103 伊藤武彦・飯田敏晴 (2009). 心理学研究における偏見とスティグマとステレオタイプの用語の棲み分け: 米国心理学会のPsycNetによる分析 日本応用心理学会第76回大会発表論文集, 86. (2009年9月12日(土)~13日(日) 九州大学 (病院キャンパス))
- G104 飯田敏晴・伊藤武彦・井上孝代 (2009). 想像されたヒト免疫不全ウイルス感染後の自己イメージ尺度の作成 日本応用心理学会第76回大会発表論文集, 57. (2009年9月12日(土)~13日(日) 九州大学 (病院キャンパス))
- G105 北風菜穂子・伊藤武彦・井上孝代 (2009). デートレイプの判断基準における性差の検討: 強要エピソードに対する反応パターンに注目して 日本応用心理学会第76回大会発表論文集, 38. (2009年9月12日(土)~13日(日) 九州大学 (病院キャンパス))
- G106 長坂 晟・伊藤武彦 (2009). 性同一性障害者の自意識: 性別適合手術前のMale-to-femaleおよびFemale-to-maleを対象とした質問紙調査 日本応用心理学会第76回大会発表論文集, 32. (2009年9月12日(土)~13日(日) 九州大学 (病院キャンパス))
- G107 鈴木ゆみ (企画者) 榊原佐和子・北風菜穂子 (話題提供者) 伊藤武彦 (指定討論者) (2009). 暴力に晒される人々: 傷ついた人々に寄り添うために心理学ができること 日本応用心理学会第76回大会発表論文集, 12 (2009年9月12日(土)~13日(日) 九州大学 (病院キャンパス))
- G108 伊藤武彦・川島 充 (2009). ビデオ視聴による政治的態度の変容: 『911 ボーイングを捜せ』視聴前から視聴後への「陰謀説」支持の増加はなぜおこったか? 日本教育心理学会第51回総会発表論文集, 456. (2009年9月20日(日)~22日(火) 静岡大学)
- G109 大高庸平・伊藤武彦 (2009). 大学生のコミュニティ感覚は精神障害者に対する偏見と関連するか? 日本教育心理学会第51回総会発表論文集, 353. (2009年9月20日(日)~22日(火) 静岡大学)
- G110 小平朋江・伊藤武彦 (2009). テレビ番組視聴による統合失調症を持つ人に対する偏見低減の効果 日本教育心理学会第51回総会発表論文集, 589. (2009年9月20日(日)~22日(火) 静岡大学)
- G111 Kodaira, T., & Ito, T. (2009). Video-based preventive education for reduction of the prejudice towards schizophrenia. *The 1st International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science (Kobe, Japan)*, 163. September 19-20, 2009.
- G112 Ito, T., & Shiromaru, M. (2009). Patients' coping strategies before and after abdominal surgery: A questionnaire survey. *The 1st International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science (Kobe, Japan)*, 235. September 19-20, 2009.
- G113 Shiromaru, M., & Ito, T. (2009). Anxiety and specific structure of worries of patients who undergo abdominal surgery. *The 1st International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science (Kobe, Japan)*, 235. September 19-20, 2009.

- G114 伊藤武彦 (2009). 看護・心理・福祉などの研究へのテキストマイニングの活用 数理システムユーザーコンファレンス 2009 論文集, THA 28-29. (2009 年 11 月 20 日 (金) 六本木ヒルズ)
- G115 小平朋江・伊藤武彦 (2009). 精神看護の教育と実践において精神障害の闘病記を活用する意義 第 29 回日本看護科学学会学術集会講演集, 393. (2009 年 11 月 27 日 (土) ~ 28 日 (日) 幕張メッセ)
- G116 伊藤武彦・小平朋江 (2009). タイダルモデルと浦河べてるの家の思想的・実践的近似性 第 29 回日本看護科学学会学術集会講演集, 513. (2009 年 11 月 27 日 (土) ~ 28 日 (日) 幕張メッセ)
- G117 孫波・伊藤武彦・城丸瑞恵 (2009). ターミナルケアとホスピスの看護研究の動向: 医中誌 1983 年 ~ 2007 年データのテキストマイニング 第 29 回日本看護科学学会学術集会講演集, 476. (2009 年 11 月 27 日 (土) ~ 28 日 (日) 幕張メッセ)
- G118 伊藤武彦 (2009). テキストマイニングの研究への活用 第 1 回テキストマイニング研究会 (未公刊発表資料)
- 2010 年**
- G119 孫波・いとうたけひこ・大高庸平・小平朋江 (2010). ウェブサイト JPOP-VOICE における統合失調症の当事者の語りの特徴 心理教育・家族教室ネットワーク第 13 回研究集会 (福岡大会) 抄録集, 54. (2010 年 3 月 19 日 (金) ~ 20 日 (土) 春日市 クローバープラザ)
- G120 大高庸平・いとうたけひこ・小平朋江・佐藤友香 (2010). 当事者研究の記述の構造分析: 向谷地・浦河べてるの家『安心して絶望できる人生』を対象として 心理教育・家族教室ネットワーク第 13 回研究集会 (福岡大会) 抄録集, 53. (2010 年 3 月 19 日 (金) ~ 20 日 (土) 春日市 クローバープラザ)
- G121 小平朋江・いとうたけひこ (2010). 回復のための資源としての語り: 精神障害者のナラティブの教材の活用 心理教育・家族教室ネットワーク第 13 回研究集会 (福岡大会) 抄録集, 52. (2010 年 3 月 19 日 (金) ~ 20 日 (土) 春日市 クローバープラザ)
- G122 いとうたけひこ・大高庸平・小平朋江・井川亜彩美 (2010). 精神医療ユーザーの服薬の語り: NPO アンケート報告書における自由記述のテキストマイニング分析 心理教育・家族教室ネットワーク第 13 回研究集会 (福岡大会) 抄録集, 51. (2010 年 3 月 19 日 (金) ~ 20 日 (土) 春日市 クローバープラザ)
- G123 小平朋江・いとうたけひこ (2010). ナラティブ教材としての闘病記: 多様なメディアにおける精神障害者の語りの教育的活用 日本教育メディア学会研究会論集, 27, 37-50. (日本教育メディア学会第 1 回研究会 2010 年 5 月 29 日 (土) 武蔵大学)
- G124 いとうたけひこ・大高庸平 (2010). 情報社会におけるメディア・リテラシー教育: 『911 ボーイングを捜せ』と 『9/11: 真実への青写真』の視聴前から視聴後への米国政府公式見解への支持の減少はなぜおこったか? 日本教育メディア学会研究会論集, 27, 19-32. (日本教育メディア学会第 1 回研究会 2010 年 5 月 29 日 (土) 武蔵大学)
- G125 小平朋江・いとうたけひこ (2010). 闘病記などのナラティブ教材の種類と意義: メディアの違いに着目して 日本精神保健看護学会第 20 回総会・学術集会プログラム・抄録集, 106-107. (2010 年 6 月 19 日 (土) ~ 20 日 (日) 聖路加看護大学)
- G126 いとうたけひこ・小平朋江 (2010). 統合失調症の闘病記のテキストマイニングと伝記分析: 古川奈都子『心を病むってどういうこと?: 精神病の体験者から』の構造のテキストマイニング 日本精神保健看護学会第 20 回総会・学術集会プログラム・抄録集, 170-171. (2010 年 6 月 19 日 (土) ~ 20 日 (日) 聖路加看護大学)
- G127 Inoue, T., & Ito, T. (2010). Personal construct analysis of a vice-principal on conflicts in a high school as workplace through High Tea Method by using repertoire grid technique. *Paper session presented at the 27th International Congress of Applied Psychology* (Melbourne, Australia). July 11-16, 2010.
- G128 Ito, T. (2010). National and international development of peace psychology. *Panel discussion the 27th International Congress of Applied Psychology* (Melbourne, Australia). July 11-16, 2010.
- G129 Ito, T., & Kodaira, T. (2010). Effects of an educational TV program on reduction of prejudice towards schizophrenia. *Paper session presented at the 27th International Congress of Applied Psychology* (Melbourne, Australia). July 11-16, 2010.
- G130 いとうたけひこ・小平朋江 (2010). マンガ教材『わが家の母はビョーキです』(中村ユキ) 読了後の

- 印象と感想のテキストマイニング 日本看護学教育学会第20回学術集会講演集, 285. (2010年7月31日(土)~8月1日(日) 大阪国際会議場)
- G132 加藤千佳・城丸瑞恵・いとうたけひこ・大高庸平 (2010). テキストマイニングによる看護専門領域別実習に関する研究動向の分析 日本看護学教育学会第20回学術集会講演集, 261. (2010年7月31日(土)~8月1日(日) 大阪国際会議場)
- G133 水谷郷美・城丸瑞恵・いとうたけひこ・大高庸平 (2010). 看護学実習に関する研究動向の分析: 学生・指導者・教員を対象とした研究に焦点を当てて 日本看護学教育学会第20回学術集会講演集, 170. (2010年7月31日(土)~8月1日(日) 大阪国際会議場)
- G134 孫波・いとうたけひこ・大高庸平・城丸瑞恵・小平朋江 (2010). 病気と向き合う体験者のウェブサイト JPOP-VOICE の語りの特徴と看護学教育への活用可能性 日本看護学教育学会第20回学術集会講演集, 284. (2010年7月31日(土)~8月1日(日) 大阪国際会議場)
- G135 鈴木ゆみ・井上孝代・いとうたけひこ・赤嶺直子 (2010). 日本における多文化問題を扱う能力 Multicultural Competencies (MC) 臨床心理士養成課程においてどのように位置づけられているか: アメリカ・ドイツとの比較を通して (異文化間教育学会第31回大会 2010年6月12日(土)~13日(日) 奈良教育大学)
- G136 大高庸平・いとうたけひこ・野中稚子 (2010). 映像資料によるメディア・リテラシーの検討: 『911 ボーイングを捜せ』ビデオ視聴後の態度変容 (続報) 日本教育心理学会第52回総会発表論文集, 234. (2010年8月27日(金)~29日(日) 早稲田大学 (早稲田キャンパス))
- G137 いとうたけひこ・大高庸平 (2010). 映像資料によるメディア・リテラシー: 『9/11: 真実への青写真』DVD 視聴後の態度変容を中心に 日本教育心理学会第52回総会発表論文集, 233. (2010年8月27日(金)~29日(日) 早稲田大学 (早稲田キャンパス))
- G138 小平朋江・いとうたけひこ・北風菜穂子・大野順 (2010). 精神障害に対する態度測定尺度 (AMD 尺度) の順序構造分析 日本教育心理学会第52回総会発表論文集, 300. (2010年8月27日(金)~29日(日) 早稲田大学 (早稲田キャンパス))
- G139 大野順・いとうたけひこ・井上孝代 (2010). 大学生の学生相談ニーズの順序構造分析 日本教育心理学会第52回総会発表論文集, 298. (2010年8月27日(金)~29日(日) 早稲田大学 (早稲田キャンパス))
- G140 北風菜穂子・いとうたけひこ・井上孝代・大野順 (2010). デートレイプ判断基準の順序構造分析: 性差に注目して 日本教育心理学会第52回総会発表論文集, 299. (2010年8月27日(金)~29日(日) 早稲田大学 (早稲田キャンパス))
- G141 いとうたけひこ (2010). 暴力-平和論とコンフリクト-平和論を統合した平和教育: ガルトゥング暴力論とトランセンド紛争転換理論を主軸にして (公開シンポジウム「教育と平和構築」) 日本教育学会第69回大会 2010年8月21日(土)~22日(日) 広島大学 (東広島キャンパス)
- G142 北風菜穂子・いとうたけひこ・井上孝代 (2010). デートレイプの判断における状況要因と態度要因の影響: 強要の方略とレイプ神話受容態度による検討 (日本応用心理学会第77回大会 2010年9月11日(土)~12日(日) 京都大学)
- G144 Ito, T., Arahata, T., Iba, N., Ohtaka, Y., Kodaira, T., Wada, E., & Nakayama, T. (2010). Evaluation of the educational use of cancer narrative database from "DIPEX-Japan": An analysis of students' feedback. *Conference program and abstracts: 6th International Conference of Health Behavioral Science* (Kuala Lumpur, Malaysia), 79. September 19-24, 2010.
- G145 Ito, T., Kodaira, T., & Ohtaka, Y. (2010). Experience of people with mental illness: A text mining analysis of an autobiographical illness narrative book. *2010 Annual Conference of Korean Psychological Association* (Seoul, South Korea). August 19-21, 2010.
- G146 Shiromaru, M., Sun, B., Ito, T., Ohtaka, Y., & Kodaira, T. (2010). Cancer patients' narratives on the JPOP-VOICE Website. *2nd Japan China Korea Nursing Conference* (Tokyo, Japan), 190-191. November 20-22, 2010.
- G147 Kodaira, T., & Ito, T. (2010). Narrative educational materials: Applications of narratives of people with mental disorders for nursing education. *2nd Japan China Korea Nursing Conference* (Tokyo, Japan), 90-91. November 20-22, 2010.
- G148 飯田敏晴・いとうたけひこ・井上孝代 (2010). 大学生における HIV 感染想定時の自己イメージ尺度

- 作成の試み 日本エイズ学会誌, 12(4), 339. (第24回日本エイズ学会学術集会・総会 2010年11月24日(水)～26日(金) グランドプリンス高輪 ザ・プリンス さくらタワー東京)
- G149 いとうたけひこ・小平朋江・向谷地生良 (2010). ナラティブとしての当事者研究: 浦河べてるの家から 日本質的心理学会第7回大会プログラム抄録集, 98. (2010年11月27日(土)～28日(日) 茨城大学)
- G150 いとうたけひこ・目黒健太 (2010). 朝日新聞と読売新聞の憲法記念日の社説のテキストマイニング 日本行動計量学会第38回大会抄録集, 294-297. (2010年9月22日(水)～25日(土) 埼玉大学)

2011年

- G151 Ito, T., Ohtaka, Y., & Kodaira, T. (2011). "TOJISHA-KENKYU (Self-Help-Studies)" as a self psychoeducational program by people with mental illness and its implication to psychiatric and mental health nursing: A text-mining analysis of website of "URAKAWA BETHEL HOUSE". *14th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2011) Forum Proceedings*, 348. February 11-12, 2011.
- G152 Kodaira, T., & Ito, T. (2011). The students' change of prejudice toward schizophrenia after reading the comic book "MY MOTHER IS MENTALLY ILL". *14th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2011) Forum Proceedings*, 347. February 11-12, 2011.
- G153 Suzuki, Y., Shiromaru, M., Ito, T., & Ohtaka, Y. (2011). A Trend of studies on extubation in Japan by text-mining tool. *14th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2011) Forum Proceedings*, 283. February 11-12, 2011.
- G154 Mizutani, S., Shiromaru, M., Ohtaka, Y., Kato, C., & Ito, T. (2011). A trend analysis of studies on nursing practice education in Japan (1) : With focus on yearly changes. *14th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2011) Forum Proceedings*, 280. February 11-12, 2011.
- G155 Kato, C., Shiromaru, M., Ohtaka, Y., Mizutani, S., & Ito, T. (2011). A trend analysis of studies on nursing practice education in Japan (2) : With focus on different subfields of nursing science. *14th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2011) Forum Proceedings*, 375. February 11-12, 2011.
- G156 いとうたけひこ・小平朋江・向谷地生良 (2011). 「自分自身で、共に」という当事者研究が開く世界: 知識創造モデルの観点から 心理教育・家族教室ネットワーク第14回研究集会抄録集, 55. (2011年2月24日(木)～25日(金) 京王プラザホテル)
- G157 小平朋江・いとうたけひこ・向谷地生良 (2011). 浦河べてるの家の当事者研究: ナラティブとコミュニティの観点から 心理教育・家族教室ネットワーク第14回研究集会抄録集, 56. (2011年2月24日(木)～25日(金) 京王プラザホテル)
- G158 いとうたけひこ・小平朋江 (2011). 浦河べてるの家の当事者研究のナレッジ・マネジメント理論からの分析 日本精神保健看護学会第21回総会・学術集会プログラム・抄録集, 182-183. (2011年6月18日(土)～19日(日) 愛知県産業労働センター)
- G159 加藤千佳・城丸瑞恵・いとうたけひこ (2011). 実習指導に携わる病棟看護師の思い: クリニカルリーダーのレベル別にみた語りの分析 日本看護学教育学会学術集会講演集, 114. (2011年8月30日(火)～31日(水) 大宮ソニックシティ)
- G160 いとうたけひこ (2011). 浦河べてるの家の当事者研究のナレッジ・マネジメント理論からの分析 (ラウンドテーブル「べてる式当事者研究の研究」) 日本教育心理学会第53回総会発表論文集, 606-607. (2011年7月24日(日)～26日(火) 北海道立道民活動センターかでの2・7)
- G161 いとうたけひこ・中川拓・益崎雄大 (2011). 9.11事件のメディア・リテラシー: DVD『Loose change 2nd ed. 911の嘘をくずせ』の視聴前から視聴後への変化 日本教育心理学会第53回総会発表論文集, 45. (2011年7月24日(日)～26日(火) 北海道立道民活動センターかでの2・7)
- G162 渡邊愛祈・いとうたけひこ・井上孝代 (2011). 乳房再建手術体験者の楽観主義的説明スタイル: CAVE法(説明スタイルの逐語的内容分析)によるナラティブの分析 日本教育心理学会第53回総会発表論文集, 529. (2011年7月24日(日)～26日(火) 北海道立道民活動センターかでの2・7)
- G163 津田友理香・いとうたけひこ・井上孝代 (2011). 在日フィリピン系青年の文化的アイデンティティに関する心理社会的課題と展望 (異文化間教育学会第32回大会 2011年6月11日(土)～12日(日) お茶の水女子大学)

- G164 北風菜穂子・いとうたけひこ・井上孝代 (2011). 被害者の手記を読むことによるデートレイプ被害者のイメージの変化:PAC分析によるナラティブ教材の効果の検討 (日本心理臨床学会第30回秋季大会 2011年9月2日(金)~4日(日) 福岡国際会議場他)
- G165 渡邊愛祈・いとうたけひこ・山崎創・井上孝代 (2011). 乳房再建手術体験者の体験記の分析:テキストマイニングを用いて (日本心理臨床学会第30回秋季大会 2011年9月2日(金)~4日(日) 福岡国際会議場他)
- G166 いとうたけひこ・山崎創・渡邊愛祈・井上孝代 (2011). 乳房再建手術体験者の語りにおける自己イメージと楽観主義 日本応用心理学会第78回大会発表論文集, 109. (2011年9月10日(土)~11日(日) 信州大学)
- G167 井上孝代・いとうたけひこ・飯田敏晴 (2011). 高等学校教職員の葛藤対処方略スタイルと適応:教職員のバーンアウト傾向及び学校特性の認知との関連 日本応用心理学会第78回大会発表論文集, 95. (2011年9月10日(土)~11日(日) 信州大学)
- G167-1 いとうたけひこ・水野修次郎・室井美稚子・杉田明宏・井上孝代・大淵憲一 (2011). コンフリクト・リゾリューション教育:学校での紛争解決教育(CRE)の可能性(自主企画ワークショップ)(日本応用心理学会第78回大会 2011年9月10日(土)~11日(日) 信州大学)
- G168 いとうたけひこ・益崎雄大・中川拓 (2011). メディア・リテラシーからみた9.11事件:DVD『Loose change 2nd ed. 9.11の嘘をくずせ』視聴後の変化のテキストマイニングによる分析 日本心理学会第75回大会論文集, 1176. (2011年9月15日(木)~17日(土) 日本大学文理学部)
- G169 いとうたけひこ (2011). ミックス法のツールとしてのテキストマイニング:9.11事件の集合的記憶とその変容をどうとらえるか? 日本行動計量学会第39回大会抄録集, 247-250. (2011年9月11日(日)~14日(水) 岡山理科大学)
- G169-1 いとうたけひこ・平沼博将・中島常安・堀尾良弘・杉田明宏・伊藤哲司 (2011). 平和を創る(1):平和心理学の現在(ワークショップ)(日本心理学会第75回大会 2011年9月15日(木)~17日(土) 日本大学文理学部)
- G170 小平朋江・いとうたけひこ (2011). ナラティブ教材を用いた精神看護学授業での統合失調症のイメージの変化のテキストマイニング分析 第31回日本看護科学学会学術集会講演集, 453. (2011年12月2日(金)~3日(土) 高知県民文化ホール・高知市文化プラザ・かるぼーと・ホテル日航高知旭ロイヤル・サウスブリーズホテル)
- G171 北風菜穂子・いとうたけひこ・井上孝代 (2011). 被害者の手記を読むことによるデートレイプ被害者像の変化:PAC分析によるナラティブ教材の効果の検討 第5回PAC分析大会プログラム・発表論文集, 12-15. (2011年12月17日(土) 国際基督教大学)
- 2012年
- G172 小平朋江・いとうたけひこ (2012). ナラティブ教材を用いた精神看護学授業における統合失調症のイメージの向上:テキストマイニングの評判分析 第32回日本看護科学学会大会発表論文集, 560. (2012年11月30日(金)~12月1日(土) 東京国際フォーラム)
- G173 二川優太・佐竹広太・いとうたけひこ (2012). プロ野球監督の楽観主義と勝率との関係:新聞記事の監督コメントのCAVE法による評定より 日本教育心理学会第54回総会発表論文集, 502. (2012年11月23日(金)~25日(日) 琉球大学)
- G174 渡邊愛祈・いとうたけひこ・井上孝代 (2012). 日本語版感謝傾向尺度(J-GRAT)作成の試み 心理臨床学会第31回秋季大会プログラム, 662. (2012年9月14日(金)~16日(日) 愛知学院大学)
- G176 北風菜穂子・いとうたけひこ・井上孝代 (2012). レイプ支持態度とレイプに関する教育的介入がデートレイプの判断に及ぼす影響:模擬裁判実験における有罪・無罪判断および量刑判断の男女別検討 日本心理臨床学会第31回秋季大会プログラム, 423. (2012年9月14日(金)~16日(日) 愛知学院大学)
- G177 小野寺哲夫・尾崎真奈美・いとうたけひこ (2012). 東日本大震災におけるPTG(心的外傷後成長)に関する研究II~セリグマンがいう楽観的帰属スタイルの人は、震災体験によるPTG(心的外傷後成長)が大きいのか?~ 日本心理学会第76回大会論文集, 350. (2012年9月11日(火)~13日(木) 専修大学(生田キャンパス))
- G178 尾崎真奈美・小野寺哲夫・いとうたけひこ (2012). 東日本大震災におけるPTG(心的外傷後の成長)

- 研究 (1): 怒り、絶望、無力感とともにある成長 日本心理学会第 76 回大会論文集, 349. (2012 年 9 月 11 日 (火) ~13 日 (木) 専修大学 (生田キャンパス))
- G178-1 いとうたけひこ (2012). 闘病記・コミックエッセイにおける PTG とインクルーシブポジティブティ (ワークショップ「ポジティブ心理学再考」)(話題提供)(日本心理学会第 76 回大会 2012 年 9 月 11 日 (火) ~13 日 (木) 専修大学 (生田キャンパス))
- G179 岡本 悠・いとうたけひこ・井上孝代 (2012). 大学生の友人関係における対人葛藤の終結までのプロセス: 複線径路・等至性モデル (TEM) に基づいて 日本応用心理学会第 79 回大会発表論文集, 21. (2012 年 9 月 22 日 (土) ~23 日 (日) 北星学園大学)
- G180 中川 拓・いとうたけひこ (2012). 東日本大震災 2 ヶ月後の大学生のトラウマ後の成長: 日本語版外傷後成長尺度 (PTGI-J) の因子構造の検討 日本応用心理学会第 79 回大会発表論文集, 100. (2012 年 9 月 22 日 (土) ~23 日 (日) 北星学園大学)
- G181 杉田明宏・いとうたけひこ・井上孝代 (2012). 新入生講座におけるアニメ『みんなが Happy になる方法』による紛争解決教育の効果: コンフリクト対処スタイルの変化 日本応用心理学会第 79 回大会発表論文集, 90. (2012 年 9 月 22 日 (土) ~23 日 (日) 北星学園大学)
- G182 いとうたけひこ (企画) (2012). アニメを用いた紛争解決教育 (自主企画ワークショップ) 日本応用心理学会第 79 回大会発表論文集, 8. (2012 年 9 月 22 日 (土) ~23 日 (日) 北星学園大学)
- G183 いとうたけひこ・迫田典子・城丸瑞恵 (2012). クリティカルケア領域における家族看護の研究動向: 質的研究と量的研究の文献の比較 (日本計算機統計学会テキストマイニングスタディグループ第 4 回研究会 2012 年 7 月 10 日 (火) 数理システムセミナールーム)
- G184 小平朋江・いとうたけひこ (2012). 統合失調症の闘病記のリスト: ナラティブ教材の可能性を展望する 日本応用心理学会第 79 回大会発表論文集, 310. (2012 年 9 月 22 日 (土) ~23 日 (日) 北星学園大学)

2013 年

- G185 杉田明宏・いとうたけひこ・井上孝代 (2013). 平和教育アニメ視聴による現職教員のコンフリクト対処スタイルの変化に関する研究: 平和教育アニメーション『みんなが Happy になる方法』の効果と意義 (日本発達心理学会第 24 回大会 2013 年 3 月 15 日 (金) ~17 日 (日) 明治学院大学 (白金キャンパス))
- G186 Hagiwara, A., Watanabe, M., Shiromaru, M., & Ito, T. (2013). Text mining analysis of psychological states in family members of lung cancer patients. *16th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2013)* (Bangkok, Thailand) *Forum Proceedings*, 159. February 21-22, 2013.
- G187 Ito, T., Sueyoshi, E., & Inoue, T. (2013). Text mining analysis of the narratives of a patient with fibromyalgia: Focusing on expressions of pain. *16th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2013)* (Bangkok, Thailand) *Forum Proceedings*, 348. February 21-22, 2013.
- G188 Shiromaru, M., Ito, T., & Mizutani, T. (2013). Emotional characteristics of stories of women who have experienced breast cancer depending on the presence or absence of metastases. *16th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2013)* (Bangkok, Thailand) *Forum Proceedings*, 149. February 21-22, 2013.
- G189 Shiromaru, M., Mizutani, S., & Ito, T. (2013). Emotional characteristics of stories of women who have experienced breast cancer depending on the presence or absence of metastases. *16th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2013)* (Bangkok, Thailand). February 21-22, 2013.
- G190 いとうたけひこ・村田洋平・杉田明宏 (2013). 東日本大震災後の節電問題についての大学生の批判的思考: 節電不要論を主張するテレビ番組視聴後の節電意識の変化 日本発達心理学会第 24 回大会発表論文集, 198. (2013 年 3 月 15 日 (金) ~17 日 (日) 明治学院大学 (白金キャンパス))
- G191 伊藤恵美・いとうたけひこ (2013). 保育者養成教育における読み聞かせ活動の位置づけ: 研究論文題目のテキストマイニング分析 日本保育学会第 66 回大会発表要旨集 2013, 820. (2013 年 5 月 11 日 (土) ~12 日 (日) 中村学園大学・中村学園大学短期大学部)
- G192 Ito, T. (2013). Posttraumatic growth in narratives of children and adolescents affected by the 311 earthquake, tsunami, and nuclear disaster in Japan. *Paper session presented at the Thirteenth International Symposium on the Contributions of Psychology to Peace* (Kuala Lumpur, Malaysia). June 10-15, 2013.
- G193 杉田明宏・いとうたけひこ (2013). アニメ『みんなが Happy になる方法』を用いた平和教育の実践とその効果測定: コンフリクト対処スタイルの変化に着目して (日本平和学会 2013 年度春季研究大

- 会 平和教育分科会 2013年6月15日(土)～16日(日) 大阪大学(豊中キャンパス)・全学教育推進機構)
- G194 Ito, T., & Sueyoshi, E. (2013). Positive pain coping of a patient with fibromyalgia: A text mining analysis of blog. *Final program: Third World Congress on Positive Psychology* (Los Angeles, USA), 49. June 27-30, 2013.
- G195 Ito, T. (2013). Posttraumatic Growth in Essays of Children Affected by the March 11 Earthquake, Tsunami, and Nuclear Disaster in Japan. *Final program: Third World Congress on Positive Psychology* (Los Angeles, USA), 89. June 27-30, 2013.
- G196 二川優太・いとうたけひこ (2013). プロ野球監督の楽観主義と勝率との関係:新聞記事の監督コメントのCAVE法による評定より 日本教育心理学会第55回総会発表論文集, 277. (2013年8月17日(土)～19日(月) 法政大学(市ヶ谷キャンパス))
- G197 Takagi, A., & Ito, T. (2013). What does reflection mean for pre-service teachers?: Analysis from online weekly journals. *Joint 7th SELF Biennial Conference and ERAS Conference 2013* (Nanyang Girls' High School, Singapore): *Conference Programme*, 168-169. September 9-11, 2013.
- G198 岡本悠・井上孝代・いとうたけひこ (2013). 青年期における対人葛藤が解決するまでのプロセス:複線径路・等至性モデル (Trajectory Equifinality Model; TEM) に基づいて 日本応用心理学会第80回大会発表論文集, 150. (2013年9月14日(土)～15日(日) 日本体育大学(世田谷キャンパス))
- G198-1 小平朋江・いとうたけひこ (2013). 統合失調症闘病記の書名のテキストマイニング 日本心理学会第77回大会発表論文集, 1075. (2013年9月19日(木)～21日(土) 札幌コンベンションセンター・札幌市産業振興センター)
- G199 いとうたけひこ (2013). 東日本大震災後の子どもの津波体験と原発体験の特徴:小中高校生の作文のテキストマイニングより 日本パーソナリティ心理学会第22回大会論文集, 64. (2013年10月12日(土)～13日(日) 江戸川大学(駒木キャンパス))
- G200 Nishino, M., & Ito, T. (2013). A text mining study of students' narratives after 3.11. Disaster. *The 16th European Conference on Developmental Psychology* (Lausanne, Switzerland). September 3-7, 2013.
- G201 中ルミ・天野博・いとうたけひこ (2013). 在宅看護におけるヒーリングタッチの有効性の検証 第44回日本看護学会一地域看護一学術集会抄録集, 146. (2013年11月15日(金)～16日(土) フェニックス・プラザ(福井市民福祉会館))
- G201-1 小平朋江・いとうたけひこ (2013). 『こころの病を生きる:統合失調症患者と精神科医師の往復書簡』の当事者と医者への語りテキストマイニング 第33回日本看護科学学会学術集会講演集, 639. (2013年12月6日(金)～7日(土) 大阪国際会議場)
- 2014年
- G202 Kadobayashi, M., Shiromaru, M., Sato, M., Honma, M., Nakada, M., & Ito, T. (2014). Characteristics of TOBYO-KI written by breast cancer patients and machining of writing for authors. *Paper session presented at the 17th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2014)* (Manila, Philippines). February 20-21, 2014.
- G203 Shiromaru, M., Mizutani, S., Sato, M., Kadobayashi, M., Honma, M., Kodaira, T., Nakada, M., & Ito, T. (2014). Positive changes due to disease experience noted in personal journals written by breast cancer patients. *Paper session presented at the 17th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2014)* (Manila, Philippines). February 20-21, 2014.
- G204 Sato, M., Kadobayashi, M., Shiromaru, M., Mizutani, S., Honma, M., Kodaira, T., Nakada, M., & Ito, T. (2014). Characteristics of physical pains and psychological suffering described by breast cancer patients in their journals. *Paper session presented at the 17th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2014)* (Manila, Philippines). February 20-21, 2014.
- G205 いとうたけひこ (2014). 津波と原発の子どもの時間的展望への影響:東日本大震災後の作文のテキストマイニング (第37回国際生命情報科学学会 (ISLIS) 学術大会 2014年3月15日(土)～16日(日) 東邦大学医療センター大森病院)
- G206 中ルミ・天野博・いとうたけひこ (2014). 在宅看護におけるヒーリングタッチの効果に関する事例検討:パーキンソン病の女性の疼痛と心理的苦痛と不眠の軽減効果 (第37回国際生命情報科学学会 (ISLIS) 学術大会 2014年3月15日(土)～16日(日) 東邦大学医療センター大森病院)

- G207 いとうたけひこ (2014). 東日本大震災の被災小中高生の作文から見た津波被害と原発被害 日本発達心理学会第 25 回大会発表論文集, 66. (2014 年 3 月 21 日 (金) ~23 日 (日) 京都大学 (吉田南キャンパス))
- G208 西野美佐子・いとうたけひこ (2014). 児童作文における心的外傷後成長 (PTG) とレジリエンス: テキストマイニングによる居場所、時間的展望、自己肯定感の研究 日本発達心理学会第 25 回大会発表論文集, 423. (2014 年 3 月 21 日 (金) ~23 日 (日) 京都大学 (吉田南キャンパス))
- G209 堀 恭子・いとうたけひこ (2014). 高校生の自尊感情と共有体験 日本発達心理学会第 25 回大会発表論文集, 385. (2014 年 3 月 21 日 (金) ~23 日 (日) 京都大学 (吉田南キャンパス))
- G210 井上孝代・いとうたけひこ (2014). 東日本大震災の被災者の語りの特徴: 『東北の声』における心的外傷後成長 (Posttraumatic Growth: PTG) 第 21 回多文化間精神医学会学術総会プログラム・抄録集, 81. (2014 年 5 月 24 日 (土) ~25 日 (日) 長崎大学医学部 良順会館他)
- G211 Ito, T. (2014). Posttraumatic Growth in Essays by Children after the March 11 Earthquake Disaster in Japan. *Paper session presented at 28th International Congress of Applied Psychology* (Paris, France). July 8–13, 2014.
- G212 Inoue, T., Toshima, Y., & Ito, T. (2014). Measuring workplace climate: Reliability and validity of the 20-item Organization Climate Scale. *28th International Congress of Applied Psychology* (Paris, France). July 8–13, 2014.
- G213 Ito, T. (2014). From the US 9/11 Attacks to the Japanese 3/11 Earthquake. *Presidential Address presented at 28th International Congress of Applied Psychology* (Paris, France). July 8–13, 2014.
- G214 中ルミ・天野 博・いとうたけひこ (2014). 在宅看護にいかすエネルギーフィールドへのケア: ヒーリングタッチの効果 (第 38 回国際生命情報科学会 (ISLIS) 学術大会 2014 年 8 月 23 日 (土) ~26 日 (火) 山梨県北杜市・増富温泉峡)
- G215 いとうたけひこ (2014). 人間の幸福に貢献するメディアとは?: 米国の 911 から 311 の日本への問題点と課題 (第 38 回国際生命情報科学会 (ISLIS) 学術大会 2014 年 8 月 23 日 (土) ~26 日 (火) 山梨県北杜市・増富温泉峡)
- G216 北風菜穂子・いとうたけひこ・井上孝代 (2014). デートレイプの判断に影響を及ぼす要因: レイプ支持態度と回答者の立場による検討 日本心理臨床学会第 33 回秋季大会プログラム, 74. (2014 年 8 月 23 日 (土) ~26 日 (火) パシフィコ横浜)
- G217 小平朋江・いとうたけひこ (2014). 統合失調症の闘病記における回復の語りのテキストマイニング: ナラティブ教材としての教育的意義 日本看護学教育学会第 24 回学術集会講演集, 224. (2014 年 8 月 26 日 (火) ~27 日 (水) 幕張メッセ国際会議場)
- G218 小平朋江・いとうたけひこ (2014). 精神障害者の回復の語り: 浦河べてるの家における当事者研究の記述のテキストマイニング 日本心理学会第 78 回大会論文集, 305. (2014 年 9 月 10 日 (水) ~12 日 (金) 同志社大学 (今出川キャンパス))
- G219 Kitakaze, N., Ito, T., & Inoue, T. (2014). Gender difference of effects of rape supportive attitude on the judgment of guilt or innocence in a mock jury trial experiment. *XVI World Congress of Psychiatry* (Madrid, Spain). September 14–18, 2014.
- G220 いとうたけひこ (2014). 東日本大震災後の語りと支援: 海外 NPO に関わって学んだこと 心理科学研究会 2014 年秋期研究集会 平和心理学分科会 ミニシンポ「国際 NGO/NPO との協同による東日本大震災への支援から考える心理学の課題」(2014 年 11 月 2 日 (日) ホテル KKR (仙台))
- G221 石館美弥子・いとうたけひこ・山下麻実・宍戸路佳・久保恭子 (2014). 採血を受ける幼児へ説明する「ことば」の地域差の検討: オノマトベ説明モデルの作成に向けて 第 34 回日本看護科学学会学術集会講演集, 333. (第 34 回日本看護科学学会学術集会 2014 年 11 月 29 日 (土) ~30 日 (日) 名古屋国際会議場)
- G222 小平朋江・いとうたけひこ (2014). 『当事者が語る精神障害とのつきあい方』の 5 人の統合失調症を持つ人たちの回復の語りのテキストマイニング 第 34 回日本看護科学学会学術集会講演集, 391. (第 34 回日本看護科学学会学術集会 2014 年 11 月 29 日 (土) ~30 日 (日) 名古屋国際会議場)
- G223 仲田みぎわ・佐藤幹代・水谷郷美・城丸瑞恵・門林道子・小平朋江・いとうたけひこ・本間真理 (2014). 乳がん体験者の闘病記分析: 闘病記にみる病い体験からのベネフィットファインディング 交流集

- 会「患者の語り Web サイト・闘病記・手記：ナラティブ教材と患者体験学を展望して」 第34回日本看護科学学会学術集会 2014年11月29日(土)～30日(日) 名古屋国際会議場
- G224 Okada, Y., Sawaumi, T., & Ito, T. (2014). Different effects of sample performance observation between high and low level English learners. *The Sixth CLS International Conference* (Singapore), 394-413. December 4-6, 2014.
- G225 いたうたけひこ (2014). 混合研究法としての PAC 分析、そして結果の新しい表記法の提案 (小講演) (PAC 分析学会第8回大会 2014年12月14日(日) 福島学院大学)
- 2015年
- G226 Shiromaru, M., Mizutani, S., Ito, T., Nakada, M., Sato, M., Kadobayashi, M., Kodaira, T., & Honma, M. (2015). Narratives about chemotherapy in Tobyo-ki: From autobiographies written by women with breast cancer. *Poster session presented at the 18th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2015)* (Taipei, Taiwan). February 5-6, 2015.
- G227 Kadobayashi, M., Shiromaru, M., Nakada, M., Ito, T., Mizutani, S., Sato, M., Honma, M., & Kodaira, T. (2015). Why do authors publish their own Tobyo-ki?: Focus on books written by breast cancer patients. *Poster session presented at the 18th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2015)* (Taipei, Taiwan). February 5-6, 2015.
- G228 Ito, T. (2015). Posttraumatic growth of children in Tohoku after the earthquake. Symposium 27: Voices of Tohoku: A narrative approach to mental health by expression of experience. *Paper session presented at the 5th World Congress of Asian Psychiatry (WCAP2015)* (Fukuoka, Japan). March 3-6, 2015.
- G229 Ito, T., & Goldstein, K. (2015). 東北の語り：災害救援における幸福のテーマ (口頭発表) (第39回国際生命情報科学会 (ISLIS) 学術大会 2015年3月14日(土)～15日(日) 東邦大学医療センター大森病院)
- G230 安藤孝敏・堀 恭子・いたうたけひこ (2015). 学校飼育動物作文のテキストマイニング：命の大切さと動物への愛着に焦点をあてて (日本発達心理学会第26回大会 2015年3月20日(金)～22日(日) 東京大学 (本郷キャンパス))
- G231 堀 恭子・いたうたけひこ (2015). 高校生への心理教育に関するパイロット研究：スクールカウンセラーのクラス訪問と自尊感情評価の変化 (日本発達心理学会第26回大会 2015年3月20日(金)～22日(日) 東京大学 (本郷キャンパス))
- G232 小平朋江・いたうたけひこ (2015). 当事者研究の可視化：テキストマイニングによる探求 (第12回当事者研究全国交流集会 2015 2015年7月30日(木) 浦河町総合文化会館文化ホール)
- G233 Kadobayashi, M., Shiromaru, M., Nakada, M., Honma, M., Sato, M., & Ito, T. (2015). From “Sociological study of cancer patients’ Tobyo-ki” to “clinical application of caring with writing”. *EAPC2015 (14th World Congress of the European Association for Palliative Care)* (Copenhagen, Denmark). May 8-10, 2015.
- G234 安氏洋子・いたうたけひこ (2015). 保育者養成教育における音楽授業を通しての生と死の教育 日本保育学会第68回大会発表要旨集, 1168. (2015年5月9日(土)～10日(日) 椋山女学園大学)
- G235 Ito, T., & Futagawa, Y. (2015). Optimism of professional baseball directors and team performance: Comparison of their winning rates and their explanatory style by using Content Analysis of Verbatim Explanations (CAVE) technique. *Fourth World Congress on Positive Psychology* (Disney’s Coronado Springs Resort Lake Buena Vista, Florida, USA). June 27, 2015.
- G236 Ito, T., Naito, T., Inoue, T., & Ozawa, I. (2015). Is PAC Analysis a mixed methods research? *Mixed Methods International Research Association (MMIRA) Asia Regional Conference in Japan The Inaugural Conference for Japan Society for Mixed Methods Research (JSMMR)* (Osaka, Japan). September 19-20, 2015.
- G237 いたうたけひこ (2015). 平和心理学の立場から (公募シンポジウム「日本における批判心理学の可能性：理論心理学、LGBT心理学、エスニックマイノリティの心理学、平和心理学の立場から」) (日本心理学会第79回大会 2015年9月22日(火)～24日(木) 名古屋国際会議場)
- G238 内藤哲雄・いたうたけひこ (2015). PAC 分析の理論と具体的な実施技術 (チュートリアルワークショップ) (日本心理学会第79回大会 2015年9月22日(火)～24日(木) 名古屋国際会議場)
- G239 小平朋江・いたうたけひこ (2015). ある統合失調症闘病記のリカバリーとヘルパー・セラピー原則：西純一『精神障害を乗り越えて：40歳ピアヘルパーの誕生』の内容分析およびテキストマイニ

- ング 日本心理学会第79回大会 2015年9月22日(火)～24日(木) 名古屋国際会議場
- G240 Okada, Y., Ito, T., & Sawaumi, T. (2015). Effects of Observing Model Video Presentation on Japanese EFL Learners' Oral Performance. *GLoCALL 2015 International Conference* (Pai Chai University, Daejeon, South Korea). November 12-14, 2015.
- G241 小平朋江・いとうたけひこ (2015). 闘病記を用いたナラティブ教材より統合失調症の回復を学生はどう受けとめたか: テキストマイニング分析より (第35回日本看護科学学会学術集会 2015年12月5日(土)～6日(日) 広島国際会議場・JMS アステールプラザ・広島市文化交流会館)
- G242 石館美弥子・山下麻実・いとうたけひこ (2015). 小児科外来で採血を受ける幼児への説明にオノマトペを用いた介入の有効性の検証 (第35回日本看護科学学会学術集会 2015年12月5日(土)～6日(日) 広島国際会議場・JMS アステールプラザ・広島市文化交流会館)
- G243 本間真理・門林道子・城丸瑞恵・仲田みぎわ・いとうたけひこ・佐藤幹代 (2015). 「書くことによる」がんの癒し介入研究: リハビリ体操の試みについて (第32回日本リハビリテーション医学会北海道地方会 2015年9月5日(土) 北海道大学医学部学友会館フラテ)
- 2016年**
- G244 Kodaira, T., & Ito, T. (2016). Visualization of Tojisha Kenkyu studies: A text mining approach to recovery (and discovery). *Poster session presented at the 19th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2016)* (Chiba, Japan). March 14-15, 2016.
- G245 Kadobayashi, M., Shiromaru, M., Nakada, M., Honma, M., Sato, M., & Ito, T. (2016). Program Evaluation for Cancer Survivors on Clinical Application of Writing. *Poster session presented at the 19th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2016)* (Chiba, Japan). March 14-15, 2016.
- G246 Kadobayashi, M., Nakada, M., Honma, M., Sato, M., Ito, T., & Shiromaru, M. (2016). Clinical Application of Caring for Cancer Survivors through Writing to Originate a Sociological Study. *Poster session presented at Third ISA Forum of Sociology* (Vienna, Austria). July 10-14, 2016.
- G247 Kodaira, T., & Ito, T. (2016). Psychological approach to Tojisha Kenkyu studies of people with mental illness. *Poster session presented at ICP2016* (Yokohama, Japan). July 24-29, 2016.
- G248 Hori, K., Ito, T., & Ando, T. (2016). Text mining of children's essays about animals kept at schools focusing on importance of life and attachment to animals. *Oral presentation in ICP2016* (Yokohama, Japan). July 24-29, 2016.
- G249 Ito, T. (2016). Peace psychology in Japan from critical psychology perspective. *Paper presented at the Symposium on Theoretical Frameworks of Psychology in ICP2016* (Yokohama, Japan). July 24-29, 2016.
- G250 Ito, T. (2016). The results and evaluation of the interview and documentation of Voices of Tohoku after the Earthquake 2011. *Poster session presented at ICP2016* (Yokohama, Japan). July 24-29, 2016.
- G251 Okamoto, H., Kataoka, M., Kodama, S., Narita, A., Tsuda, Y., Ito, T., & Inoue, T. (2016). A Basic Study on Professional Training Program of PTSD/Trauma Care through Expressive Art Therapy: Based on Trajectory Equifinality Approach. *Poster session presented at ICP2016* (Yokohama, Japan). July 24-29, 2016.
- G252 Hori, K., & Ito, T. (2016). High school students' recognition and expectation on the role of school counselors. *Rapid Communication presentation in ICP2016* (Yokohama, Japan). July 24-29, 2016.
- G253 Ishidate, M., Ito, T., & Oyama, T. (2016). Onomatopoeias used by nurse students toward preschool patients before and after pediatric nursing training. *Rapid Communication presentation in ICP2016* (Yokohama, Japan). July 24-29, 2016.
- G254 西野美佐子・いとうたけひこ・沼山博・平川昌宏・荒井美智子 (2016). 東日本大震災後の保育者からみた幼児の行動状態と保育者の役割意識の特徴 日本教育心理学会第58回総会発表論文集, 146. (2017年10月7日(土)～9日(月) 名古屋国際会議場)
- G255 いとうたけひこ・西野美佐子 (2016). 東日本大震災後の小中学生の作文におけるポジティブな語り: テキストマイニングによる分析 日本教育心理学会第58回総会発表論文集, 658. (2017年10月7日(土)～9日(月) 名古屋国際会議場)
- G256 いとうたけひこ・三浦楓子 (2016). テキストマイニングによる臨死体験の記録の特徴 (第42回国際生命情報科学学会 (ISLIS) 学術大会 2016年8月28日(日) 長野県佐久市・かすがの森)
- G257 大槻麻衣子・いとうたけひこ (2016). 自分の中に答えを見つけるイメージ療法: コヒーランス・プラクティスの大学授業への導入 (第42回国際生命情報科学学会 (ISLIS) 学術大会 2016年8月28

- 日 (日) 長野県佐久市・かすがの森
- G258 岡本 悠・小玉紗織・津田友理香・成田彩乃・いとうたけひこ・井上孝代 (2016). グループ表現セラピーによる専門家養成プログラムにおける参加者の変容プロセス: 複線経路等至性アプローチ (Trajectory Equifinality Approach) を基に 日本心理臨床学会第35回秋季大会プログラム, 394. (2016年9月4日 (日) ~7日 (水) パシフィコ横浜)
- G259 Ito, T., & Kodaira, T. (2016). Soul and science unite in Tojisha Kenkyu studies of people with mental illness. *Poster Session presented at Global Human Caring Conference Wuhan (Wuhan Shangri-La Hotel, China). October 14-16, 2016.*
- G260 いとうたけひこ (2016). 東日本大震災体験者の語りへのテキストマイニングを用いた混合研究法アプローチ (第1回テキストマイニングイブニングセミナー 2016年11月4日 (金) NTTデータ数理システム セミナールーム)
- G260-1 城丸瑞恵・いとうたけひこ・門林道子・佐藤幹代・仲田みぎわ・水谷郷美 (2016). 患者の語りに耳を傾けることの必要性和可能性: 乳がん体験者の語りに焦点をあてて (第36回日本看護科学学会学術集会 2016年12月10日 (土) ~11日 (日) 東京国際フォーラム)
- G261 小平朋江・いとうたけひこ (2016). 当事者研究とリカバリーの思想: 向谷地生良 (2015)『精神障害と教会』のテキストマイニング分析 (第36回日本看護科学学会学術集会 2016年12月10日 (土) ~11日 (日) 東京国際フォーラム)
- 2017年
- G262 Ito, T., Shiromaru, M., Nakada, M., & Mizutani, S. (2017). Text mining analysis of books by patients of breast cancer: Focusing on the expressions of wish and demand. *Poster session presented at the 18th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2017) (Regal Riverside Hotel Shatin, Hong Kong). March 9-10, 2017.*
- G263 いとうたけひこ (2017). 東日本大震災のトラウマと心的外傷後成長 (第43回国際生命情報科学会 (ISLIS) 学術大会 2017年3月18日 (土) ~19日 (日) 東邦大学医療センター大森病院)
- G264 小平朋江・いとうたけひこ (2017). 精神障害をもつ人々の回復の語りのテキストマイニング: メンタルヘルスマガジン『こころの元気+』100の表紙モデル記事における話題の特徴 (第12回日本統合失調症学会 2017年3月24日 (金) ~25日 (土) 米子コンベンションセンタービッグシップ)
- G265 小平朋江・いとうたけひこ (2017). 精神障害当事者の自己開示とリカバリー: メンタルヘルスマガジン『こころの元気+』表紙モデルの動機と理由および特集タイトルの分析 (日本発達心理学会第28回大会 2017年3月25日 (土) ~27日 (月) 広島国際会議場・JMS アステールプラザ・広島市文化交流会館)
- G266 堀 恭子・いとうたけひこ・安藤孝敏 (2017). 学校飼育動物作文のテキストマイニング: 命の大切さと動物への愛着に焦点をあてて (日本発達心理学会第28回大会 2017年3月25日 (土) ~27日 (月) 広島国際会議場・JMS アステールプラザ・広島市文化交流会館)
- G267 Okada, Y., Sawaumi, T., & Ito, T. (2017). Impact of model video observation on performance in the Japanese EFL classroom. *The 15th ASIA TEFL Conference and the 64th TEFL Conference 2017 (Yogyakarta, Indonesia). July 13-15, 2017.*
- G268 Ito, T. (2017). What kind of mixed methods research is PAC Analysis? *Mixed Methods International Research Association (MMIRA) Asia Regional Conference 2017/3rd Japan Society for Mixed Methods Research (JSMR) Conference 2017. August 4-6, 2017.* (国際混合研究法学会アジア地域会議/第3回日本混合研究法学会年次大会 2017年8月4日 (金) ~6日 (日) 立命館大学 (大阪いばらきキャンパス))
- G269 Tsuda, Y., Okamoto, H., Kataoka, M., Kodama, S., Narita, A., Ito, T., & Inoue, T. (2017). An expressive art group therapy training program for clinical psychology graduate students in Japan: Program and assessment. *The 6th International Conference of Expressive Psychotherapy Case Study (Suzhou, China). August 4-6, 2017.* (臨床心理士養成大学院生を対象としたグループ表現アートセラピー研修プログラムの開発と評価 第6回表現性心理療学会事例発表 2017年8月4日 (金) ~6日 (日) 中国蘇州・蘇州第一高等学校)
- G270 亀田芙蓉・いとうたけひこ・河津芳子 (2017). 実習指導場面における看護系の新人教員が抱える困難感 (日本看護学教育学会第27回学術集会 2017年8月17日 (木) ~18日 (金) 那覇コ

ンベンションセンター)

- G271 田島明子・慶徳民夫・いとうたけひこ (2017). 地域作業療法学を受講したにも関わらず地域作業療法に関わりたと思わなかった理由: 質問紙調査結果のテキストマイニング分析 (全国リハビリテーション学校協会第 30 回教育研究大会・教員研修会 2017 年 8 月 31 日 (木) ~9 月 1 日 (金) 新潟医療福祉大学)
- G272 小平朋江・いとうたけひこ (2017). べてるの家の当事者研究における自己病名と研究テーマのテキストマイニング: メンタルヘルスマガジン『こころの元気+』を分析対象にして (日本質的心理学会第 14 回大会 in 東京 2017 年 9 月 9 日 (土) ~10 日 (日) 首都大学東京 (荒川キャンパス))
- G273 Okada, Y., Sawaumi, T., & Ito, T. (2017). Effect of model video viewing order on speaking performances in Japanese EFL classrooms. *GLoCALL and PCBET Joint International Conference 2017* (Universiti Teknologi Brunei, Brunei). September 7, 2017.
- G274 Ito, T., Shiromaru, M., Nakada, M., & Mizutani, S. (2017). A needs survey for people with breast cancer surgery after leaving hospital. *Thailand Nursing and Midwifery Council (TNMC) and the World Academy of Nursing Science (WANS) International Nursing Research Conference 2017* (Bangkok, Thailand) Proceedings, 515. October 20-22, 2017.
- G275 岡本 悠・津田友理香・片岡真紀・小玉紗織・成田彩乃・いとうたけひこ・井上孝代 (2017). 臨床心理士養成大学院生を対象としたグループ表現セラピー体験ワークショップに関する試み 日本心理臨床学会第 36 回大会発表論文集, 305.
- G276 亀田芙蓉・いとうたけひこ・河津芳子 (2017). 新入大学教員による看護実習指導場面の困難への対応行動 (第 37 回日本看護科学学会学術集会 2017 年 12 月 16 日 (土) ~17 日 (日) 仙台国際センター)
- G277 生田奈美可・いとうたけひこ (2017). 一般病棟に勤務する看護師のスピリチュアリティについての個人別態度構造分析 第 11 回 PAC 分析学会大会抄録集, 23-26. (2017 年 12 月 9 日 日本保健医療大学 (幸手北キャンパス))

2018 年

- G278 Ito, T., & Saguchi, K. (2018). Strengths of the Elderly in the Practice of Visiting Nurses: An interview study. *21st East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2018)* (Seoul, South Korea). January 11-12, 2018.
- G279 いとうたけひこ (2018). 「艱難汝を玉にす」の心理学: UDR サイクルを中心に 国際生命情報科学会 (ISLIS) 会長講演 (第 45 回国際生命情報科学会 (ISLIS) 学術大会 2018 年 3 月 10 日 (土) ~11 日 (日) 東邦大学 (大森キャンパス))
- G280 小平朋江・いとうたけひこ (2018). 精神障害をめぐる「家族のストーリー」におけるアンカバリー (公開)・ディスカバリー (発見)・リカバリー (回復): 連載記事のテキストマイニングからみた家族会などの活動の重要性 ポスター発表 (第 13 回日本統合失調症学会 2018 年 3 月 24 日 (土) 徳島あわぎんホール)
- G281 小平朋江・いとうたけひこ (2018). メンタルヘルスマガジン『こころの元気+』を研究する。(第 5 回こころのバリアフリー研究会総会 2018 年 6 月 3 日 (日) NTT 東日本関東病院)
- G282 小平朋江・いとうたけひこ (2018). べてるの家の当事者研究におけるアンカバリー (公開)・ディスカバリー (発見)・リカバリー (回復): 研究目的に焦点を当てたテキストマイニング (日本精神保健看護学会第 28 回総会・学術集会 (2018 年 6 月 23 日 (土) ~24 日 (日) 国立看護大学校)
- G283 Ito, T., Sugita, A., Inoue, T., & Takabe, Y. (2018). Conflict resolution educational program through collaborative learning for school teachers. *Poster session presented at the 29th Congress of Applied Psychology (ICAP2018)* (Montreal, Canada). June 26-30, 2018.
- G284 Hori, K., & Ito, T. (2018). Text mining of children's essays about animals kept at schools focusing on the importance of life and attachment to animals. *Poster session presented at the 29th Congress of Applied Psychology (ICAP2018)* (Montreal, Canada). June 26-30, 2018.
- G285 Okada, Y., Sawaumi, T., & Ito, T. (2018). Can college-level English courses help reduce EFL learners' public speaking anxiety? *The 16th Asia TEFL International Conference* (University of Macau, Macau SAR, China). June 27-29, 2018.
- G286 岡田靖子・澤海崇文・いとうたけひこ (2018). 日本人学習者のスピーチ不安軽減を目指すビデオ映像の活用 外国語教育メディア学会関東支部第 140 回研究大会, 36-37. (2018 年 6 月 16 日 (土))

- 筑波大学 (東京キャンパス文京校舎))
- G287 岡田靖子・澤海崇文・いとうたけひこ (2018). 英語授業におけるビデオ映像を活用したアクティブラーニング (外国語教育メディア学会 (LET) 第58回全国大会 2018年8月7日 (火) ~9日 (木) 千葉ライフサイエンスセンター)
- G288 Okada, Y., Sawaumi, T., & Ito, T. (2018). Motivating Japanese learners with video recordings of former EFL learners' development. *The GLoCALL 2018 Conference and the 15th China CALL Conference* (Xi'an Jiaotong-Liverpool University, Suzhou, China). August 18, 2018.
- G289 いとうたけひこ (2018). 松谷みよ子の収集した民話における臨死体験 (第46回国際生命情報科学会 (ISLIS) 学術大会 2018年8月24日 (金) ~27日 (月) 和歌山県高野山近く「ゆの里」)
- G290 北風菜穂子・いとうたけひこ (2018). 授業における「質問づくり」導入の試み: 質問に対する態度および批判的思考態度の変化に焦点をあてて (日本応用心理学会第85回大会 2018年8月25日 (土) ~26日 (日) 大阪大学 (吹田キャンパス))
- G291 加藤恵美・いとうたけひこ・井上孝代 (2018). 親を喪失した子どもへの保育における支援の実態と課題: 保育所保育士の語りのテキストマイニング分析 (日本応用心理学会第85回大会 2018年8月25日 (土) ~26日 (日) 大阪大学 (吹田キャンパス))
- G292 生田奈美可・いとうたけひこ・伊東美佐江 (2018). 看護卒後教育に向けた看護師のスピリチュアリティに関するテキストマイニングを用いた分析 (日本看護学教育学会第28回学術集会 2018年8月28日 (火) ~29日 (水) パシフィコ横浜)
- G293 小平朋江・いとうたけひこ (2018). 精神看護学教育におけるナラティブ教材の活用: UDR サイクルの重要性とアクティブ・ラーニングへの可能性 (日本看護学教育学会第28回学術集会 2018年8月28日 (火) ~29日 (水) パシフィコ横浜)
- G294 いとうたけひこ・森田夏実・射場典子 (2018). 一般心理学講義における DIPEX の活用: 大学教育における患者インタビュー動画教材の有用性 (日本看護学教育学会第28回学術集会 2018年8月28日 (火) ~29日 (水) パシフィコ横浜)
- G295 井上孝代・いとうたけひこ (2018). ビジュアル・ファシリテーションのカウンセリングへの導入と効果: コンフリクト解決のシングル・セッション事例をもとに (日本カウンセリング学会第51回大会 2018年9月16日 (日) ~17日 (月) 松本大学)
- G296 加藤恵美・井上孝代・いとうたけひこ (2018). 離婚後の子どもの“荒れ”への保育: <あいまいな喪失>の一事例 (日本カウンセリング学会第51回大会 2018年9月16日 (日) ~17日 (月) 松本大学)
- G297 小平朋江・いとうたけひこ (2018). 浦河べてるの家におけるビジュアル・ナラティブ: 当事者研究とべてるまつりにおける多様に外在化されたもの (日本心理学会第82回大会 2018年9月25日 (火) ~27日 (木) 仙台国際センター)
- G298 いとうたけひこ (2018). ビジュアル・ナラティブ教材を用いた心理学教育: 「ディベックス・ジャパン: 健康と病いの語りデータベース」を活用して (公募シンポジウム「ビジュアル・ナラティブによる教育と支援」) (日本心理学会第82回大会 2018年9月25日 (火) ~27日 (木) 仙台国際センター)
- G299 いとうたけひこ・内藤哲雄 (2018). 混合研究法または質的研究法としての PAC 分析の理論と実施法入門 (チュートリアルワークショップ) (日本心理学会第82回大会 2018年9月25日 (火) ~27日 (木) 仙台国際センター)
- G300 五十嵐靖博・いとうたけひこ (2018). 心理学教育における批判心理学的実践の試み: アメリカ心理学会の「国家安全保障に係る尋問」への加担を例として (日本心理学会第82回大会 2018年9月25日 (火) ~27日 (木) 仙台国際センター)
- G300-1 いとうたけひこ (2018). ジンバルドの「監獄」実験疑惑 (公募シンポジウム「対テロ戦争とアメリカ心理学: 「心理学的拷問」に反対した心理学者たち」) (日本心理学会第82回大会 2018年9月25日 (火) ~27日 (木) 仙台国際センター)
- G301 いとうたけひこ (2018). 混合研究法または質的研究法としての PAC 分析 (第4回日本混合研究法学会年次大会 (2018年度) 2018年9月29日 (土) ~30日 (日) 順天堂大学医療看護学部 (浦安キャンパス))
- G302 佐口清美・いとうたけひこ・丹後キヌ子 (2018). 認知症当事者の語りにおける強みの分析: 「健康と

- 病いの語りデータアーカイブ」を対象として（第4回日本混合研究法学会年次大会（2018年度）2018年9月29日（土）～30日（日） 順天堂大学医療看護学部（浦安キャンパス）
- G303 小平朋江・いとうたけひこ（2018）. 当事者研究を研究する（ポスター発表）（第15回当事者研究全国交流集会名古屋大会 2018年10月7日（日） 愛知淑徳大学（長久手キャンパス）
- G304 Ikuta, N., & Ito, T. (2018). A case study on structure of spirituality in a mid-level career male nurse by the personal attitude construct analysis. *Poster session at Nursing & Health Sciences 20th Anniversary Symposium* (ANA Crowne Plaza Hotel, Ube Yamaguchi, Japan). October 13, 2018.
- G305 井上孝代・いとうたけひこ（2018）. トラウマケアと PTSD 予防のためのグループ表現セラピーとコミュニティ構築：スリランカ研修会の実践報告（第25回多文化間精神医学会学術総会 2018年11月9日（金）～10日（土） ホテル日航成田）
- G306 松岡康彦・いとうたけひこ（2018）. 海外駐在員のメンタルヘルスマネジメント：ベトナムの職場文化・風土における実態と改善（第25回多文化間精神医学会学術総会 2018年11月9日（金）～10日（土） ホテル日航成田）
- G307 岡田靖子・いとうたけひこ・澤海崇文（2018）. 英語学習者のスピーキングパフォーマンスのビデオ映像を活用した授業実践（外国語教育メディア学会関東支部第141回研究大会 2018年11月24日（土） 城西大学（東京紀尾井町キャンパス）
- 2019年**
- G308 Ito, T., & Uda, H. (2019). The spirituality of family members of those deceased in the Great East Japan Earthquake: A text mining analysis of dream narratives in the book *She came to see me in my dream*. (第47回国際生命情報科学学会 (ISLIS) 学術大会 2019年3月9日（土）～10日（日） 東邦大学（大森キャンパス）
- G309 いとうたけひこ・宇多仁美（2019）. 東日本大震災の遺族のスピリチュアリティ：『私の夢まで、会いに来てくれた』における夢の語りのテキストマイニング分析（第47回国際生命情報科学学会 (ISLIS) 学術大会 2019年3月9日（土）～10日（日） 東邦大学（大森キャンパス）
- G310 堀恭子・いとうたけひこ・安藤孝敏（2019）. 学校飼育動物作文のテキストマイニング：原文参照による性差の検討（日本発達心理学会第30回大会 2019年3月17日（日）～19日（火） 早稲田大学（戸山キャンパス）
- G311 Ito, T., Sugita, A., Takabe, Y., & Inoue, T. (2019). Integration of animation and Jigsaw technique for peace education on colonialism by using an animation DVD, “The Story of Inde Island”. *Roundtable discussion session presented at the 2019 international conference, Cooperative Learning in Far-East Asia and the World by the International Association for the Study of Cooperation in Education (IASCE2019)* (Taipei, Taiwan). March 22-24, 2019. (2019年国際協同教育学会台北大会)
- G312 小平朋江・いとうたけひこ（2019）. みんなのナラティブ教材（第6回こころのバリアフリー研究会総会 2019年5月25日（土）～26日（日） NTT 東日本関東病院）
- G313 加藤恵美・いとうたけひこ・井上孝代（2019）. 自死遺児の語りにおける自己開示・発見・リカバリー：テキストマイニングによる手記『自殺って言えなかった。』の混合研究法的分析（日本心理臨床学会第38回大会 2019年6月6日（木）～9日（金） パシフィコ横浜）
- G314 Okada, Y., Sawaumi, T., & Ito, T. (2019). Setting achievable goals to keep Japanese EFL learners motivated. *The 17th Asia TEFL International Conference and the 6th FLLT International Conference* (Ambassador Hotel Bangkok, Thailand). June 27-29, 2019.
- G315 小平朋江・いとうたけひこ（2019）. 当事者研究を研究する：テキストマイニングで開く共同創造 (co-production) の可能性（第16回当事者研究全国交流集会 in 浦河 2019年7月19日（金） 浦河町総合文化会館）
- G316 青木昭子・山崎由花・三苦博・山科章・泉美貴・松尾かずな・いとうたけひこ（2019）. 性的指向と性同一性 (SOGI) を医学科2年と4年で学ぶことの意義（第51回日本医学教育学会大会 2019年7月26日（金）～27日（土） 京都府立京都市・歴史館／稲盛記念会館）
- G317 いとうたけひこ・丹後キヌ子・佐口清美（2019）. スピリチュアルペインに関する看護文献のタイトルの変遷：テキストマイニングによる分析（日本看護学教育学会第29回学術集会 2019年8月3日（土）～4日（日） 国立京都国際会館）
- G318 Okada, Y., Sawaumi, T., & Ito, T. (2019). The effects of using nonnative speakers' improvements for EFL:

- Influential affective factors. *Paper session presented at the 12th Globalization and Localization in Computer-Assisted Language Learning (GLoCALL)* (University of Foreign Language Studies, The University of Da Nang, Viet Nam), 67-68. August 8-10, 2019.
- G319-Japanese Inoue, T., & Ito, T. (2019). 「人生の川 (River of Life)」の体験型学び *The 7th International Conference of Expressive Art Psychotherapy* (Suzhou, China). August 9-11, 2019.
- G319-Chinese 对“丧失体验儿”的理解和援助～以培养社会福祉士短期大学生为对象的课内工作坊尝试～ *The 7th International Conference of Expressive Art Psychotherapy* (Suzhou, China). August 9-11, 2019.
- G320-Japanese Kato, E., Inoue, T., & Ito, T. (2019). “喪失体験児”の理解と支援に向けて～社会福祉士養成短大学生を対象とした授業内ワークショップの試み～ *The 7th International Conference of Expressive Art Psychotherapy* (Suzhou, China). August 9-11, 2019.
- G321 上野まどか・いとうたけひこ (2019). 専門病院入職初期の職員に対する不安緩和と関係性構築を目的としたグループワークのプロセスと参加者の評価に関する質的検討 (日本カウンセリング学会第52回大会 2019年8月18日(日)～19日(月) 北海学園大学)
- G322 井上孝代・いとうたけひこ (2019). ビジュアル・ファシリテーションのカウンセリングへの導入と効果 (2): ライフストーリーにおけるコンフリクト解決の事例 (日本カウンセリング学会第52回大会 2019年8月18日(日)～19日(月) 北海学園大学)
- G323 仲田みぎわ・城丸瑞恵・水谷郷美・いとうたけひこ (2019). 乳がん手術を受けた患者に対する多職種による退院支援 (日本看護研究学会第45回学術集会 2019年8月21日(水)～22日(木) 大阪国際会議場)
- G324 加藤恵美・いとうたけひこ・井上孝代 (2019). あいまいな喪失を体験した子どもへの保育士による支援の実態と課題: 質問紙調査の量的分析結果から (日本応用心理学会第86回大会 2019年8月24日(土)～25日(日) 日本大学商学部)
- G325 上野まどか・いとうたけひこ (2019). 専門病院入職初期の職員に対する不安緩和と関係性構築を目的としたグループワークの効果 (日本応用心理学会第86回大会 2019年8月24日(土)～25日(日) 日本大学商学部)
- G326 井上孝代・杉田明宏・いとうたけひこ・高部優子 (2019). アニメ教材と協同学習によるコンフリクト解決教育: DVD「インデ島へようこそ」で植民地問題を考える (日本応用心理学会第86回大会 2019年8月24日(土)～25日(日) 日本大学商学部)
- G327 小平朋江・いとうたけひこ (2019). 鼎談『『べてるの家』に学ぶ』から学ぶ: テキストマイニングとキーワードの分析より (日本心理学会第83回大会 2019年9月11日(水)～13日(金) 立命館大学 (大阪いばらきキャンパス))
- G328 Ito, T., Saguchi, K., & Tango, K. (2019). Strengths of people with dementia: Secondary analysis of a narrative database. *The 12th International Nursing Conference 2019* (Seoul, South Korea). October 24-25, 2019.
- G329 井上孝代・いとうたけひこ (2019). 蘇州におけるワークショップ「人生の川 (River of Life)」の体験型学びの実施報告: 東日本大震災の心理社会的サポートにおけるグループ表現セラピーの実践から (第26回多文化間精神医学会学術総会 2019年11月30日(土)～12月1日(日) 龍谷大学 (深草キャンパス和顔館)) (こころと文化, 19(1), 77-78.; マクロ・カウンセリング研究, 12, 36-37.)
- G330 松岡康彦・いとうたけひこ (2019). ハノイ駐在員日本人のメンタルヘルス調査 (第26回多文化間精神医学会学術総会 2019年11月30日(土)～12月1日(日) 龍谷大学深草キャンパス 和顔館場) (こころと文化, 19(1), 78-79.)
- G331 丹後キヌ子・山田緑・いとうたけひこ (2019). 認定看護教育を受けた看護師のスピリチュアルペインのとりえ方とスピリチュアルケアの実態調査: テキストマイニングによる分析 (第39回日本看護科学学会学術集会 2019年11月30日(土)～12月1日(日) 石川県立音楽堂・ANAクラウンプラザホテル金沢・ホテル金沢・もてなしドーム地下広場)
- 2020年**
- G332 Ito, T., Shiromaru, M., Nakada, M., & Mizutani, S. (2020). A Japan national survey of nurses' support for hospital discharge of patients after breast cancer surgery. *23rd East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2020)* (Changmai University, Thailand). January 10-11, 2020.
- G333 石館美弥子・いとうたけひこ (2020). 国内における発達障がい児を取り巻く物理的環境に関する研究の動向と課題 (第67回日本小児保健協会学術集会 2020年11月4日(水)～15日(日))

- (Web 開催)
- G334 森田夏実・射場典子・佐藤幹代・瀬戸山陽子・和田恵美子・高橋奈津子・竹内登美子・横井郁子・原田雅義・いとうたけひこ (2020). 健康と病いの語り (DIPEX-Japan) の患者の語りから何を学ぶか Part 10～当事者が語るさまざまな意思決定～ 交流セッション (日本看護学教育学会第 30 回学術集会 2020 年 9 月 5 日 (土)～9 月 14 日 (月) (Web 開催))
- G335 いとうたけひこ・仲田みぎわ・水谷聡美 (2020). 手術を受けた乳がん患者に対する退院支援の実施状況 日本看護研究学会雑誌, 43(3), 165. (日本看護研究学会第 46 回学術集会 2020 年 9 月 28 日 (月)～11 月 8 日 (日) 札幌医科大学 (Web 開催))
- G336 水谷聡美・いとうたけひこ・仲田みぎわ (2020). 61 冊の乳がん闘病記に表現される苦痛の様相 日本看護研究学会雑誌, 43(3), 164. (日本看護研究学会第 46 回学術集会 2020 年 9 月 28 日 (月)～11 月 8 日 (日) 札幌医科大学 (Web 開催))
- G337 丹後キヌ子・いとうたけひこ・山田 緑・伊吹 愛 (2020). 前立腺がんに関連した看護文献のテキストマイニング分析 日本看護研究学会雑誌, 43(3), 163. (日本看護研究学会第 46 回学術集会 2020 年 9 月 28 日 (月)～11 月 8 日 (日) 札幌医科大学 (Web 開催))
- G338 岡田靖子・澤海崇文・いとうたけひこ (2020). 日本人の韓国語学習者における動機づけ (日本心理学会第 84 回大会 2020 年 9 月 8 日 (火)～11 月 2 日 (月) 東洋大学白山キャンパス (Web 開催))
- G339 石館美弥子・加藤千明・いとうたけひこ (2020). 発達障がい児が安心して受診できる物理的環境の検討: 医療従事者の視点から (第 40 回日本看護科学学会学術集会 2020 年 12 月 1 日 (火)～25 日 (金) (Web 開催))